

# シラバス

専攻科

平成29年度



埼玉医科大学短期大学

## はじめに

短期大学における専攻科は、短期大学の教育の上に精選した専門領域を教授し、その研究を指導することを目的とし、修業年限を1年以上とすることが、学校教育法により規定されています。

皆さんは、それぞれに明確な目的を持って入学されたと思います。自分の目的を達成できるよう勉学に励むことはもちろんですが、教育理念を理解し、教育目的、教育目標を達成できるよう、持てる力を精一杯出し切っていただきたいと思います。

本学の建学の精神に「師弟同行」という言葉があります。この言葉が表すように、教員は常に学生と共に学問の道を歩む姿勢でいます。母子看護専門職としての自己を観つめ、友と語り、教師であると同時に先輩であり、身近な相談者でもある教員とともに学んでいきましょう。

このシラバスには教育目標を達成するために、どのようなことをどのような方法で学んでいくかが具体的に記されています。短時間に多くの知識・技術を習得するために精読し、カリキュラムの全体像をイメージし、学習の指針としていただきたいと思います。

1年間、皆さんが豊かな人間性と専門的な能力を発揮して、広く社会に貢献するという目標を持ち、学生としての真摯な気持ちで、母子看護専門職としての学習を深められることを期待しています。

平成 29 年 4 月

専攻科教員一同

## 専攻科母子看護学専攻の教育理念・教育目的・教育目標

### 教育理念：

埼玉医科大学短期大学の教育の基本姿勢は、一般社会人としての幅広く豊かな教養と良識を持ち、生命に対する深い畏敬の念と人類愛を持って、積極的に社会に貢献できる人材を育成することである。母子看護学専攻の教育は医療全般にわたる広範な視野と高い見識を持ち、急速かつ多様に変化しつつある社会状況を的確にとらえ、対象者および家族・地域に対して母子看護専門職としての社会的役割を担う人材を育成することである。

さらに、本学は高度周産期医療機関であり地域医療の中核的役割を担っている埼玉医科大学病院に併設しているため、高い専門性を活かし専門的指導的役割を果たせる人材を育成しなければならない。以上の観点から教育目的・目標を次のように設定している。

### 教育目的：

看護基礎教育を基盤として、母子看護学に関する専門的知識と技術を深く身に付け、社会に貢献できる助産師を養成する。

### 教育目標：

1. 広範な視野と高い見識を持った社会人になる。
2. 多様に変化する社会状況及び価値観を的確にとらえ、高い専門性と指導的役割を担い生涯に亘って社会に貢献できる母子看護専門職業人になる。
3. 母子看護専門職として周産期医療の水準・向上に貢献できる人となる。

### 修了時の特性：

1. 広範な視野と高い見識を培う。
  - 1) 生命に対する深い畏敬の念と人類愛を持つことができる。
  - 2) 倫理観を持った行動ができる。
  - 3) 社会情勢の変化を的確にとらえることができる。
  - 4) 生涯学習を行い自己研鑽することができる。
2. 高い専門性を持った実践能力を培う。
  - 1) 女性の一生と家族のライフサイクルの健康を支援することができる。
  - 2) 高度周産期医療に対応する知識・技術を高めることができる。
  - 3) 科学的思考を持ち総合的に判断することができる。
  - 4) 社会資源を活用し、他職種と協働・連携ができる。
3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う。
  - 1) 保健医療福祉チームの一員として連携・協働して医療水準の向上に貢献することができる。
  - 2) 自律的に生涯学習を継続することができる。
    - ① 臨床場面で得た課題を研究することができる。
    - ② 研究成果を臨床に活かすことができる。

# 埼玉医科大学短期大学専攻科履修規定

(趣 旨)

## 第1条

専攻科の授業科目（以下「科目」という）の履修方法等については、短大学則に定めるもののほかこの規定による。

(履 修 届)

## 第2条

学生は、毎学期の初めに、その学期に履修しようとする授業科目を届け出なければならない。履修届は、所定の用紙に必要事項を記入した上、履修届出期間内に学務課に提出し、学長の承認を得なければならない。

### 2. 履修のための条件

授業科目によっては、「履修のための条件」が定められていることがあるので、関係科目のガイダンスを受け、充分考慮してから届け出る。

### 3. 履修届の変更

すでに届け出た履修届を変更（追加・取消）しようとする時は、履修届期間内に「履修変更届」を学務課に提出しなければならない。その後の履修の変更（追加・取消）は認めない。

### 4. 授業の聴講

履修届をした授業科目の他に授業を聴講することができる。その場合、予め担当教員の許可を得る必要がある。ただし、単位は修得できない。

(科目の終了)

## 第3条

履修している授業科目の出席時間数が授業時間の3分の2以上に達したと認められた者は、その科目を終了したものとする。

2. 実験・実技・実習などにおいては必要とされる出席時間数が授業時間の原則として5分の4以上とするが、科目により異なることがあるので、当該科目担当教員の指示に従う。

(成績の評価)

## 第4条

成績評価の方法

成績の評価は、定期試験、追試験および再試験があり、筆記、口述または実技の形式で行われる。また、授業科目によっては、論文・報告書提出、平素の修学状況等をもって試験に代えることもある。

### 2. 成績評価の時期

原則として、科目終了時に行う。

### 3. 成績評価

評価は100点満点で行い、学生には、S・A・B・C・Dの5段階で提示する。

(試 験)

第5条

受験心得

試験を受けるに当たっては、学生証を必要とする。とくに筆記試験を受ける場合には学生証を机上に提示しなければならない。

学生証を忘れた者は、試験開始前に当日限り有効の仮学生証の発行を、手数料を添えて学務課に申し出、仮学生証を提示する。

試験開始時間に20分以上遅刻した場合は受験することができない。やむを得ない理由により試験を欠席する場合は、速やかに試験欠席届を学務課に提出する。

2. 不正行為

試験において不正行為があったとみとめられた者は、当該科目の受験資格を失う。さらに学則28条により、退学・停学等の処分が行われることがある。

3. 追試験

① 試験を受けられなかった理由が病気その他やむを得ないと認められた場合、その科目について追試験を受けることができる。

② 前項の規定により、追試験を受けようとする者は、追試験受験願に医師の証明書（診断書、受診届、診療料金領収書のいずれか一つ）または、事故証明書（あるいは遅延証明書）等の理由を証する書面を添えて、当該科目試験終了7日以内に学務課に提出しなければならない。

③ 追試験の成績は原則として定期試験と同様に評価される。

4. 再試験

① 再試験は定期試験または追試験において不合格となった者に対して、その科目の担当教員の判断により行うことができる。

② 再試験の受験が許可された者は、試験の前日までに再試験受験願に再試験料を添えて学務課に提出しなければならない。再試験料は別に定める。

③ 再試験に合格した場合は「C」と評価される。

(単位の修得)

第6条

単位の修得

授業科目を履修終了し、その評価に合格した者は、所定の単位を取得できる。

2. 再履修

単位を修得できなかった科目については、次年度の当該科目が開講される学期の履修届出期間内に改めて履修届を提出し、授業を受けた上で、単位修得のための試験を受ける。なお、再度の受講に関しては担当教員の指示に従う。

この規程は、平成27年4月1日より施行する。

# 母子看護学専攻

# 目 次

科目名(担当者名)	該当頁
助産学概論( <u>稲井洋子</u> ・岡本喜代子)	1
助産形態・機能学(石原理・ <u>亀井良政</u> ・相馬廣明・梶原健・高井泰・齋藤正博・木村真智子 高橋幸子・宮崎加寿子・仲神宏子・鈴木裕之・栃木秀乃)	3
母子健康管理学( <u>亀井良政</u> ・難波聡・高橋幸子・仲神宏子)	5
母子栄養学( <u>小澤悦子</u> ・須田幸子・村山美紀)	6
性行動科学( <u>佐藤明子</u> )	8
母性の心理・社会学( <u>田之内厚三</u> )	10
家族社会学( <u>對馬秀子</u> )	11
乳幼児保健学( <u>稲井洋子</u> ・霜田敏子)	12
妊娠期の助産診断・技術学( <u>北川典子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・景山直子・今村久美子・高森妙子)	14
分娩期の助産診断・技術学( <u>景山直子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・北川典子・今村久美子)	16
産褥期の助産診断・技術学( <u>今村久美子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・北川典子・景山直子・阿部一子)	18
新生児診断学( <u>田村正徳</u> ・側島久典・國方徹也・本多正和・非常勤講師)	20
生殖医学の生理と病理( <u>馬場一憲</u> ・石原理・高井泰・齋藤正博・木村真智子・海老根真由美・菅沼真樹)	22
地域母子保健学( <u>本橋千恵美</u> )	24
助産管理( <u>稲井洋子</u> ・武藤光代・内田美恵子・中島桂子・山口次子・伊藤匡子)	25
母子看護学研究Ⅰ(基礎)( <u>稲井洋子</u> ・田村直俊・荒川浩明)	27
母子看護学研究Ⅱ(応用)( <u>稲井洋子</u> ・北川典子・景山直子・今村久美子)	29
助産管理実習( <u>稲井洋子</u> )	31
周産期援助実習( <u>北川典子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・景山直子・今村久美子)	33
分娩期援助実習( <u>景山直子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・北川典子・今村久美子)	34
新生児援助実習( <u>景山直子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・北川典子・今村久美子)	35
出産前教育実習( <u>北川典子</u> ・ <u>稲井洋子</u> ・景山直子・今村久美子)	36
地域母子保健実習( <u>今村久美子</u> ・ <u>稲井洋子</u> )	37

\* 下線は科目筆頭者である





授業科目の区分		基礎助産学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
助産学概論	講義	通年	必修	1/15	稲井洋子 岡本喜代子
概要：助産の概念を理解し、女性のリプロダクティブヘルスの維持・増進および健康的な家族の育成について学習する。女性と家族が健やかな生活を送るための助産師としての責任について学ぶ。					
目的：助産の基本概念を助産の変遷・文化から捉え、助産の対象、助産師の定義、倫理、職性と業務、ケア提供における助産過程の考え方について学習する。また、母子保健の変遷から助産師のあり方と将来を展望する。					
到達目標： 1. 助産の変遷と母子保健の動向について説明できる。 2. 助産師の定義と業務、助産師と倫理について説明できる。 3. 助産師としてのあり様を展望できる。					
評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	4/	母子保健の動向(1) 助産師の倫理	1. 性と生殖および母子を取り巻く社会の変化について説明できる。 2. 助産の変遷について説明できる。 3. 助産師の倫理について説明できる。 教科書(1)第1章, 第4章, 教科書(6), (7)		稲井
2	4/	助産過程とは 診断過程と実践過程	1. ウェルネスの概念とウェルネス志向の考え方が説明できる。 参考書(1)第1章, 第2章 2. マタニティ看護診断の特徴・意義について説明できる。 3. 助産過程における診断過程と実践過程について説明できる。 4. 保健指導案の作成の意図と手順について説明できる。 教科書(5), 配布資料		稲井
3	4/18 (火)	母子保健と 助産の変遷 (1)	助産と助産師制度の変遷をたどり、現在の助産制度を学習しその後の助産師活動の課題について考える。 教科書(3), (4)		岡本
4	4/18 (火)	母子保健と 助産の変遷 (2)	助産のみならず母子保健の専門職としての助産師の役割について、現在および今後の社会状況を含めて考える。 教科書(3), (4)		岡本
5	7/	助産師と関係法規 および諸制度 助産師教育の歴史	1. 母子保健関係法規と諸制度について説明できる。 1) 母子保健法 2) 児童福祉法 3) 保健師助産師看護師法 4) 医療法 5) その他：産科医療保障制度 等をまとめ 助産師としての将来を展望できる。 教科書(1)第2章,		稲井
6	1/9 (火)	助産師の職業的責務と 今後の課題 (1)	母子保健の関係法規を学び、助産師の法的責任と母子看護の専門職業人としての責務を考える。 教科書(3), (4)		岡本

7	1/9 (火)	助産師の職業的責務と今後の課題 (2)	母子保健の関係法規を学び、助産師の法的責任と母子看護の専門職業人としての責務を考える。 教科書(3). (4)	岡本
8	1/	母子保健の動向 (2)	1. 我が国の母子保健の動向について説明できる。 1) 近年の統計資料から、助産師としての自分の考えを述べることができる。 教科書(1)第5章. 教科書(6). (7) 2. 助産師教育の歴史 1) わが国の助産師教育 2) 現任教育と卒後教育 3) 助産師教育の今後の課題 教科書(1)第7章.	稲井
履修者へのコメント： (1)履修にあたっての心構えと要望 ①概要に該当する部分を予習して授業に臨んでください。 ②前期と後期にまたがる科目です。後期の授業の際には、前期の授業内容を復習して臨んでください。				
オフィスアワー： 1. 授業終了後に教室で質問を受け付けます。 2. 授業時間外の質問は、研究室 22 までお越しくください。				
教科書： (1)我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座1 基礎助産学(1) 助産学概論 第5版、医学書院、2015。 (2)山本あい子編：助産師基礎教育テキスト 2017年版 第1巻、助産概論 第1版、日本看護協会出版会、2017。 (3)加藤尚美、林陽子、平山イソラ編：基礎助産学 第1巻 助産学概論 第1版、日本助産師会出版、2013。 (4)日本助産診断・実践研究会編著：マタニティ診断ガイドブック 第5版、医学書院、2015。 (5)公益財団法人母子衛生研究会編：母子保健の主なる統計 平成28年度刊行(2016)、母子保健事業団、2017。 (6)財団法人母子衛生研究会編：わが国の母子保健 平成29年、母子保健事業団、2017。				
参考書： (1)太田操著：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程、医歯薬出版、2009。 (2)看護行政研究会編：看護六法、平成29年度版、新日本法規出版株式会社、2017。 (3)厚生統計協会編：厚生指標 臨時増刊 国民衛生の動向 2017年、財団法人厚生統計協会、2017。 (4)日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2014、日本産婦人科学会事務局、2014。 (5)日本助産師会編集・監修：助産業務ガイドライン2014、日本助産師会出版、2014。 (6)産科医療保障制度 再発防止委員会からの提言集 第1回報告書～第5回報告書、日本医療機能評価機構、2015。 (7)日本助産診断・実践研究会編著：実践マタニティ診断 第4版、医学書院、2016。 (8)進純郎、岡本 喜代子著：助産力、日本助産師会出版会、2014。 (9)進純郎著：子宮力、日本助産師会出版会、2014。 (10)その他 日本助産師会、ICMのホームページ等の資料				

授業科目の区分		基礎助産学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
助産形態・機能学	講義	前期	必修	1/30	石原 理 亀井 良政 相馬 廣明 梶原 健 高井 泰 齋藤 正博 木村 真智子 高橋 幸子 宮崎 加寿子 仲神 宏子 鈴木 裕之 栃木 秀乃
概要：専門科目として基礎助産学に位置づけされている科目であり、助産診断の基礎となる周産期に関する解剖・生理のメカニズムについて学ぶ。					
目的：助産活動を行う基礎として、生殖の形態と機能、妊娠・分娩・産褥の経過と胎児の成長・発達に関する基礎を修得する。					
到達目標：1. 生殖の形態と機能を説明できる。 2. 妊娠・分娩・産褥の経過と胎児の成長・発達を説明できる。 3. 会陰切開、裂傷に伴う縫合を模型を用いて実施できる。					
評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（80%） 2. 授業参加度（20%）					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	生殖の解剖と生理	男女の生殖機能と形態の特徴、性器の発達過程 排卵における「視床下部・・・下垂体・・・卵巣」系の働き 受精から着床まで		高井
2	/	妊娠の生理 (1)	妊娠の成立のメカニズムと妊娠の維持 妊娠の維持とホルモン 妊娠経過と母体の変化（子宮・臍部、体重、バイタルサイン）、マイナートラブル発生のメカニズム		梶原
3	/	妊娠の生理 (2)	胎児の生理 着床から各器官の発生、胎児循環、胎児の発育 胎児付属物の形成と機能 胎盤と臍帯の解剖、羊水とは、胎盤とホルモン		梶原
4	/	異常妊娠の治療と管理 (1)	双胎妊娠、子宮外妊娠、前置胎盤、胎状奇胎、流産、早産、過期妊娠		齋藤
5	/	異常妊娠の治療と管理 (2)	つわり、妊娠高血圧症候群・子癇、妊娠糖尿病など		亀井
6	/	分娩の生理 (1)	正常分娩機転のメカニズム 分娩の3要素、分娩の経過、胎盤娩出		高橋
7	/	分娩の生理 (2)	正常分娩の機序と母体の変化 分娩機序、バイタルサインの変化、消化器系、泌尿器系の変化、産痛出現のメカニズムと部位の変化		高橋
8	/	分娩の生理 (3)	分娩が胎児に及ぼす影響 胎児心拍の変化、先進部の変化（産瘤、頭血腫） 胎児付属物の形態と機能		高橋
9	/	分娩の生理 (4)	胎盤のみかた		相馬
10	/	異常分娩の処置と管理 (1)	娩出力の異常（微弱陣痛と過強陣痛） 誘発分娩（使用薬剤、産婦の管理）		宮崎
11	/	異常分娩の処置と管理 (2)	胎位の異常（回旋異常、骨盤位）、双胎分娩 胎児の大きさの異常（巨大児、低出生体重児の分娩） 胎児仮死（臍帯因子、胎盤因子）		高橋
12	/	異常分娩の処置と管理 (3)	分娩時の出血（弛緩出血、頸管裂傷、DIC） 帝王切開、鉗子分娩、吸引分娩の適応と要約		仲神

13	/	会陰の切開および 裂傷に伴う縫合技術	会陰の切開の適応とその方法および 裂傷に伴う縫合の方法について 演習	鈴木 栃木
14	/	産褥の生理	産褥の生理とメカニズム 全身の変化 (バイタルサイン、ホルモンの変化) 子宮の復古と悪露の排出、乳汁分泌機序	木村
15	/	異常産褥の治療と管理	産褥熱、子宮復古不全、血栓、乳房の異常、乳腺腫瘍	木村
履修者へのコメント：履修にあたっての心構えと要望 (1)概要に該当する部分を予習して授業に臨んでください。 (2)授業後は授業内容を復習してください。				
オフィスアワー： 授業終了後に教室で質問を受け付けます。				
教科書： (1)我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座2 基礎助産学(2) 母子の基礎科学、第5版、医学書院、2014。 (2)我部山キヨ子編：助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ(1)妊娠期、第5版、医学書院、2013。 (3)我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ(2)分娩期・産褥期、第5版、医学書院、2013。 (4)横尾京子編：助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ(3)新生児・乳幼児期、第5版、医学書院、2013。 (5)吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト 第2巻(2017年版)女性の健康とケア、第1版、日本看護協会出版会、2017。 (6)森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第4巻(2017年版)妊娠期の診断とケア、第1版、日本看護協会出版会、2017。 (7)町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト 第5巻(2017年版)分娩期の診断とケア、第1版、日本看護協会出版会、2017。 (8)横尾京子編：助産師基礎教育テキスト 第6巻(2017年版)産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア、第1版、 日本看護協会出版会、2017。 (9)遠藤俊子編：助産師基礎教育テキスト 第7巻(2017年版)ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、 日本看護協会出版会、2017。 (10)医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第3版、メディックメディア、2013。 (11)医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.10 産科 第3版、メディックメディア、2013。 (12)相馬廣明著：胎盤 臨床と病理からの視点、篠原出版新社、2005。				
参考書： (1)荒木勤：最新産科学(正常編)、第22版 文光堂、2008。 (2)荒木勤：最新産科学(異常編)、第22版 文光堂、2012。 (3)北本清編：シリーズ 看護の基礎科学 第5巻 からだの異常 病態生理学Ⅲ、日本看護協会出版会、2003。 (4)池ノ上克他編：NEW エッセンシャル 産科学・婦人科学、医歯薬出版株式会社、2010。 (5)石原理他編：講義録 産科婦人科学、メジカルビュー社、2010。				

授業科目の区分		基礎助産学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
母子健康管理学	講義	前期	必修	1/15	亀井良政 難波聡 高橋幸子 仲神宏子
概要：専門科目として基礎助産学に位置づけられている科目であり、母子の健康に影響をおよぼす要因の現状と問題点、母子の各ライフステージ上における健康管理について学ぶ。					
目的：母子の健康に影響をおよぼす遺伝・免疫・母児感染・社会的因子・加齢と性機能について、その現状と問題点を理解し、性機能が急激に変化する思春期・更年期の女性の健康問題と健康教育について習得する。					
到達目標：1. 遺伝・免疫・母児感染・社会的因子・加齢と性機能について説明することができる。 2. 母子の各ライフステージ上における健康管理について説明することができる。					
評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	遺伝の仕組みと遺伝性疾患(1)	遺伝学的基礎を理解し、主な遺伝性疾患について学習し、母子保健における重要性を認識する。		難波
2	/	遺伝の仕組みと遺伝性疾患(2)	遺伝性疾患の早期発見と早期治療を学習し、その重要性を理解し、告知および両親の受容における看護師の役割を考える。		難波
3	/	母体の免疫学的特性	母体の免疫学的特性について理解し、妊娠成立と維持や免疫学的関連性を持つ異常妊娠（血液型不適合・習慣流産・抗リン脂質抗体症候群）等を学習する。		仲神
4	/	胎児・新生児の免疫学的特性と母児感染	胎児・新生児の免疫学的特性を理解し、胎児・新生児の感染症を学習する。 TORCH、パルボウイルス、成人T細胞白血病など母児感染の原因となる疾患について学習する。		仲神
5	/	薬剤・環境因子と母児の健康	母体や胎児に影響を与える環境因子、薬剤について理解を深める。 妊産婦・授乳婦への正しい情報提供について学習する。		仲神
6	/	女性のライフステージの健康管理	思春期・成熟期・更年期・老年期の性機能と健康管理（含：家族計画・避妊）について学習する。		高橋
7	/	思春期、更年期の健康教育	性機能移行期の主な健康問題について学習する。		高橋
8	/	まとめ	まとめ		亀井
履修者へのコメント：履修にあたっての心構えと要望 (1)概要に該当する部分を予習して授業に臨んでください。 (2)授業後は授業内容を復習してください。					
オフィスアワー： 授業終了後に教室で質問を受け付けます。					
教科書： (1)我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座2 基礎助産学(2) 母子の基礎科学、第5版、医学書院、2014。 (2)我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座3 基礎助産学(3) 母子の健康科学、第5版、医学書院、2016。 (3)堀内成子編：助産学講座5 助産診断・技術学I、第5版、医学書院、2013。 (4)吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト 第2巻(2017年版)女性の健康とケア、第1版、日本看護協会出版会、2017。 (5)森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第4巻(2017年版)妊娠期の診断とケア、第1版、日本看護協会出版会、2017。 (6)横尾京子編：助産師基礎教育テキスト 第6巻(2017年版)産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア、第1版、日本看護協会出版会、2017。 (7)遠藤俊子編：助産師基礎教育テキスト 第7巻(2017年版)ハイリスク妊産婦・新生児へのケア、第1版、日本看護協会出版会、2017。 (8)医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第3版、メディックメディア、2013。					
参考書： 開講後提示					



授業科目の区分		基礎助産学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
母子栄養学	演習	前期	必修	1/30	小澤悦子
<p>概要： 国民の食生活は多様化個別化し、個人的要素や習慣的要素に加え、社会、経済的な影響を受けている。一方母子を取り巻く社会情勢は少子化、核家族化、都市化等の変化により、家族を孤立に導く傾向にある。これらを踏まえて、母性のライフステージ、及びマタニティサイクルにおける栄養について理解し各期の食生活について、より具体的な指導のための技術と知識を学習する。関連施策、関連機関との連携についても学ぶ。</p>					須田幸子 村山美紀
<p>目的：母子栄養についての能力を育み専門職として活躍する力を身につける。</p>					
<p>到達目標：1. 妊娠による母体の変化と胎児の成長に伴う栄養、食生活の留意点を理解する。 2. 妊産婦、乳幼児の栄養と食生活を理解する。 3. 日本人の食事摂取基準を理解する。</p>					
評価方法：レポート(80%)、授業参加態度(20%)					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	日本人の食生活の現状と動向 健康づくり事業の背景と施策 (健康日本21)	我が国の栄養・食生活の現状、食生活をとりまく諸問題を考える。健康日本21、食生活指針、栄養表示基準制度		小澤
2	/	健康づくりと栄養 (1)	栄養指導に必要な基礎知識を学ぶ。 ①健康と栄養 ②栄養素とその働き		小澤
3	/	健康づくりと栄養 (2)	栄養指導に必要な基礎知識を学ぶ。 ③食事摂取基準 ④食品成分表の使い方 ⑤食品群の種類と活用 ⑥食品構成		小澤
4	/	健康づくりと栄養 (3)	栄養指導に必要な基礎知識を学ぶ。 食べたものを記録してみよう(演習) ⑦食事記録のつけかた ⑧栄養価計算		小澤
5	/	健康づくりと栄養 (4) 栄養指導の原則と方法	栄養指導の意義と目的、栄養指導における原則と方法 栄養指導の効果、栄養指導の媒体の種類とその特徴		須田
6	/	母子栄養の意義、指導の目的 乳・幼児期の栄養	母子栄養の意義、指導目的、母子に関する栄養行政について学ぶ。①乳児の栄養(母乳・人工栄養、離乳食) ②幼児期の栄養と食事		小澤
7	/	妊産婦の栄養 (1)	栄養と食事について学ぶ。 ①妊娠時 ②授乳期 ③肥満 ④妊娠糖尿病		須田
8	/	妊産婦の栄養 (2) 思春期の栄養	栄養と食事について学ぶ。 ⑤妊娠高血圧症候群 ⑥妊娠性貧血 ⑦便秘 思春期の女性		須田
9	/	妊産婦の栄養の実際 (3)	妊娠糖尿病の食事計画の演習 ①単位計算 ②献立作成 ③レシピづくり を含む。		村山

10	/	乳・幼児期の栄養の実際 ①	調乳法と離乳（各期）幼児食の調理実習を行い、調理から試食までを体験し、理解を深める。 A. Bの2グループに分かれ各4班で行う。各2班ずつ離乳食（各期）の調理と調乳を行う。 (調理実習)	小澤
11	/	乳・幼児期の栄養の実際 ②		
12	/	妊産婦の栄養の実際	妊娠高血圧症候群の食事について調理実習を行い、調理から試食までを体験し、理解を深める。 A. Bの2グループに分かれ各4班で行う。各2班ずつ、妊娠高血圧症候群と貧血の食事の調理を行う。 (調理実習)	村山 須田
13	/	妊産婦の栄養の実際		
14	/	妊産婦の栄養の実際	貧血の食事の計画～調理実習までを行い、各班で発表・ディスカッションをし、理解を深める。4班、自分達で考えた別々の献立で行う。 (調理実習)	村山 須田
15	/	妊産婦の栄養の実際		
履修者へのコメント：				
(1) 授業前に教科書を読む。				
(2) 提出された課題については授業内外において返却・解説を行う。				
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。				
教科書：				
(1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座3 基礎助産学(3) 母子の健康科学、第5版、医学書院、2016.				
(2) 香川芳子監修：七訂増補食品成分表、女子栄養大学出版社、2016.				
参考書：				
(1) 国立健康・栄養情報研究会編：厚生労働省 国民健康・栄養調査報告(平成18年)、第一出版、2008.				
(2) 平山宗宏監：母子健康・栄養ハンドブック、医歯薬出版、2010.				
(3) 日本人の食事摂取基準 2015年版. 厚生労働省「日本人の食事摂取基準」策定検討会報告書、第一出版、2015.				
(4) 柳澤正義監修：授乳・離乳の支援ガイド実践の手引き、母子保健事業団、2008.				

授業科目の区分		基礎助産学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
性行動科学	講義	前期	必修	1/15	佐藤明子
概要：人間にとっての性は、「生殖」を自らコントロールしながらふれあいの喜びを分かち合うことにある。そのことをベースにして、両性とマイノリティーの性について深く学び、安心と安全のための性行動への選択力を身につける。					
目的：現在社会に於ける性情報が乱れ、青少年の生き方や行動に多分にその影響が見られる。性の在り方について、深く考え、情報に流されず納得できる自分の行動を確立していく為に積極的に学んでほしい。					
到達目標：助産師として性教育する立場になることから、女性・男性・子どもたちがそれぞれしあわせな人生を歩むための適切な助言をし、性への理解を深めさせる力と対応の仕方を身につけてほしい。					
評価方法： 1. レポート(30%)、2. 授業参加度(70%)					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	性をめぐる基礎理解	両性の対等・平等性がすすむ中で、性のあり方・意味がどのようになっているか。		佐藤
2	/	生物的性と性別役割 (1)	男と女はどのように分かれるか、そのメカニズムを考え、性別役割との関係をさぐる。(多様な性は、後に学習する)		佐藤
3	/	性の分化と性別役割 (2)	性差から性別役割、さらに性別役割の問題をジェンダーの視点から見つめてみる。		佐藤
4	/	性的欲求と性行動 (1)	ひとはなぜ性に近づくのか、性的欲求の根源をさぐり、安心と安全との関係をさぐる。		佐藤
5	/	性的欲求と性行動 (2)	レイプ・セクハラ・性暴力・売買春等について学び、安心と安全の関係をさぐる。		佐藤
6	/	性の普遍性・多様性	マイノリティーの性について学び、性的マイノリティーとは何かを考える。		佐藤
7	/	性愛のゆくえ	エロス、共生、結婚、家族をみつめなおす。		佐藤
8	/	「人間と性」まとめ	これからの課題を考える。		佐藤
履修者へのコメント： (1) 授業を受け、自分の考えを持ち、それをお互いに交流することに積極的に参加してほしい。 (2) 授業は教授型に偏らず、意見感想等の積極的交流で理解を深めたい。 (3) 提出された課題については授業内外において返却・解説を行う。					
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。					
教科書： (1) 狛潤一・佐藤明子・水野哲夫・村瀬幸治 (共著) 『ヒューマン・セクソロジー』(子どもの未来社) 2016.					
参考書： (1) 杉田聡著：AV 神話 アダルトビデオをまねてはいけない、大月書店、2008. (2) 対馬ルリ子構成・監修：生と性、健康を学ぶDVD 一産婦人科医からのメッセージ、かもがわ出版、2006.					



※子どもの未来社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1	TEL 03-3830-0027	FAX 03-3830-0028
※大月書店 〒113-0033 東京都文京区本郷2-11-9	TEL 03-3813-4651	FAX 03-3813-4656
※かもがわ出版 〒602-8119 京都府京都市上京区 堀川通出水西入	TEL 075-432-2868	FAX 075-432-2869

授業科目の区分		基礎助産学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
母性の心理・社会学	講義	必修	前期	1/15	田之内厚三
<p>概要：母性とは何か、性役割の獲得はどのようになされていくのか、といった問題を学習していくと共に子どもの各発達段階における母性の心理的特徴についても理解を深めることで、好ましい親子関係や子どもの健全育成に関する援助のあり方を検討していく。</p> <p>目的：母性が乳児の健全な発育にとっていかに重要なかを心理学的・社会学的視点から学ぶことで、助産師として必要な科学的知識とスキルを深める。</p> <p>到達目標：助産師として子育てに関する適切な心理的援助ができる。また、母子看護に関する心理学的な知識とスキルを身につけることができる。</p>					
評価方法：1. レポート(70%)、2. 授業態度(30%)					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	子育ての振り子	わが国の育児方法は欧米と比べてどこに特徴があるのか、また子育てでわかっていることは何か、知能や性格は遺伝か環境か等々、基本的な事項について学習を深める。		田之内
2	/	乳幼児期の母子関係Ⅰ	エリクソンの心理社会的発達段階を中心に母子関係の形成に及ぼす要因について検討し、ポジティブな親子関係を築くための援助方法について学習する。		田之内
3	/	赤ちゃんの素晴らしい能力	乳児は無力で受け身の存在から、環境に積極的に働きかける存在になっている。こうした有能な乳児の生後1年間の能力について理解を深める。		田之内
4	/	乳幼児期の母子関係Ⅱ	乳幼児期の安定根づくりに必要な母子関係とはどのようなものか、また、これが人生にどのような影響を与えるのかを具体例をあげて考えていく。		田之内
5	/	事例研究	A子の事例から健全な母子関係のあり方について考える。		田之内
6	/	母性は本能か学習か	生後すぐの赤毛ザルを代理の母親で育てるというハーローの実験から、どのような教訓が得られるかを考察する。		田之内
7	/	母性をはく奪された子どもたち	幼少時、人間的環境をはく奪された子どもたちの例を取り上げ、人はどこまで育てられるかという問題を考える。		田之内
8	/	家族関係の危機	最近の児童虐待の傾向と児童虐待防止法の改正に伴う通報の義務について学習を深める。また、ホスピタリズムとストロークの問題も考えてみる。		田之内
履修者へのコメント：					
(1) 少人数の授業なので、積極的に授業に参加してもらいたい。					
(2) 毎回、前回授業のまとめと振り返りをするので、ノートを忘れないこと。					
オフィスアワー：					
質問等は授業終了後かe-mail（開講時に伝える）で受け付ける。					
教科書：					
(1) 村瀬聡美、我部山キヨ子編：助産学講座4 基礎助産学(4) 母子の心理・社会学、第5版、医学書院、2016.					
参考書：					
開講後提示					

授業科目の区分		基礎助産学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
家族社会学	講義	前期	必修	1/15	對馬 秀子
<p>概要：家族を形成する結婚や親子のあり方が複雑になり多様化している。これまで通念とされてきた伝統的な家族とはどのような家族か。それがどう変化してきたのか。家族の基礎である結婚、および親子関係を中心に少子・高齢化社会における基礎集団としての家族について考える。親子の成立に立ち会う助産師としての基本知識形成に役立てたい。</p> <p>目的：子どもを産み育てる場としての家族という視点から、家族内の人間関係、夫婦関係、親子関係について考える。家族をめぐる現代日本の諸問題を明確にする。子どもの権利について考える。家族法から家族の問題を考える。</p> <p>到達目標：家族の形はこれからも変化するであろうが、家族の何を、なぜ問題とするのか、その基本を考える。多様な家族のあり方を理解する。</p>					
評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	家族とは何か	多様な家族の形態、家族の定義 到達目標：現代家族が抱える諸問題について考える。		對馬
2	/	伝統的家族とは何か	明治民法下の家族と戦後民法改正下の家族 到達目標：民法から家族の変化を考える。		對馬
3	/	家族の形成	結婚一屆出婚と事実婚、世界の多様な結婚のあり方 到達目標：民法の規定、世界の結婚から結婚とは何かを考える。		對馬
4	/	人の一生と家族周期	ライフヒストリーの聞き取り調査報告、人口統計から見た家族・世帯・結婚 到達目標：聞き取り調査で実際の変化を学ぶ。人口統計から家族の変化と現状について考える。		對馬
5	/	親子関係と子どもの権利	さまざまな親子関係、子どもの権利 到達目標：民法に規定された親子関係を学び、無戸籍の問題点を考える。コルチャック先生が提唱した子どもの権利について考える。		對馬
6	/	子どもの成長と教育	子どもの社会化と発達課題、養育と教育 到達目標：子どもの成長・発達を育ててきた家族、地域社会とその変化について考える。		對馬
7	/	家族の危機と解消	日常生活のなかのストレス、離婚及び家族成員の死 到達目標：離婚と死について考える。		對馬
8	/	家族と福祉	高齢期の家族関係、家・墓の継承問題 到達目標：介護の問題、空き家の問題など今日の家族を福祉の関連から考える。		對馬
履修者へのコメント：					
<p>(1) 授業は、現代社会における家族について考える場にしたい。2～3回のレポート（宿題）を提出する。</p> <p>(2) レポートの1回は、身近な人からのライフヒストリーの聞き取り調査を行う。</p> <p>(3) レポートは返却、授業内でも解説する。</p>					
オフィスアワー：質問は授業中、授業終了後、およびメールにて受け付ける。アドレス：sawatdi5@g01.itscom.net					
教科書：					
<p>(1) 公益財団法人母子衛生研究会編：母子保健の主なる統計 平成28年度刊行(2016)、母子保健事業団 2017</p> <p>(2) 伊藤真監修：日本国憲法：角川春樹事務所、2013.</p> <p>(3) 岸見一郎：アドラー心理学入門—よりよい人間関係のために：KKベストセラーズ、1999.</p> <p>(4) ベアテ・シロタ・ゴードン著・平岡磨紀子構成・文：1945年のクリスマス、朝日文庫、2016.</p>					
参考書：					
<p>(1) 村瀬聡美・我部山キヨ子編著：助産学講座4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学、医学書院、2016.</p> <p>(2) 厚生統計協会：国民衛生の動向、財団法人厚生統計協会</p>					

授業科目の区分		基礎助産学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
乳幼児保健学	講義	前期	必修	1/15	稲井洋子 霜田敏子
概要：専門科目として基礎助産学に位置づけられている科目であり、乳幼児の正常な経過と起こりやすい疾患、健康診査と援助方法について学ぶ。					
目的：乳幼児期の形態と機能、心理的特徴と社会的特徴を理解し、健全な成長発達を遂げるための援助について理解を深める。乳幼児と家族をとりまく現代社会のさまざまな問題に気づき、看護者としての支援について理解する。					
到達目標：1. 乳幼児の特徴と健康診査の方法および支援方法について説明することができる。 2. 乳幼児に起こりやすい疾患とその予防、乳幼児と家族を取り巻く環境と健康増進のための援助について説明することができる。					
評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（80%）、2. グループ課題（20%）					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	乳幼児の正常な発達	1) 乳児期の正常な発達について説明できる。 ①身体的特徴, ②生理的特徴, ③精神発達, ④食と栄養, ⑤予防接種 2) 幼児期の正常な発達について説明できる。 ①身体的特徴, ②生理的特徴, ③精神発達, ④食と栄養, ⑤予防接種⑤社会的特徴 教科書(1)第3章. (2)第5章. 参考図書(3)第3章.		稲井
2	/	乳幼児の健康診査	1) 乳幼児の健康診査に必要な技術が説明できる。 ①健康診査の要点 2) 発育・発達評価・保健指導の要点が説明できる。 教科書(1)第3章. (2)第5章. 参考図書(3)第3章.		稲井
3	/	乳幼児の疾病予防と健康増進のための援助(1)	乳幼児の疾病予防と健康増進のための援助およびその家族を取り巻く環境と問題助について課題内容を調べ、意見交換した内容をまとめ説明できる。 (課題提示、グループワーク・意見交換) 教科書(2)第5章. 参考書(2)第16章. (3). (4)		霜田
4	/	乳幼児の疾病予防と健康増進のための援助(2)	乳幼児の疾病予防と健康増進のための援助およびその家族を取り巻く環境と問題への支援について説明できる。 (グループワーク・意見交換) 教科書(2)第5章. 参考書(2)第16章. (3). (4)		霜田
5	/	乳幼児の疾病予防と健康増進のための援助(3)	乳幼児の疾病予防と健康増進のための援助およびその家族を取り巻く環境と問題への支援について説明できる。 (グループワーク・意見交換) 教科書(2)第5章. 参考書(2)第16章. (3). (4)		霜田
6	/	乳幼児の疾病予防と健康増進のための援助(4)	乳幼児の疾病予防と健康増進のための援助およびその家族を取り巻く環境と問題への支援についての学びをクラスメンバーの中でプレゼンテーションできる。 (グループ発表・全体討議)		霜田 稲井
7	/	ハイリスク乳幼児への援助	1) 援助の基本方法が説明できる。 2) 精神・運動発達遅滞がある児へのケアが説明できる。 3) 先天奇形・先天異常がある児へのケアが説明できる。 4) 低出生で出生した乳幼児へのケア説明できる。 5) 特殊な状況にある乳幼児へのケアが説明できる。 教科書(3)第5章, 第6章		稲井

8	/	母親のDVと虐待を受けている・受けていると推測される乳幼児	<p>1) DV (domestic violence) について説明できる。</p> <p>①定義 ②特徴と実態 ③被害女性への援助</p> <p>②DV環境下の子ども</p> <p>2) 虐待とその予防および早期発見について説明できる。</p> <p>①日本における虐待の実態が述べられる。</p> <p>②虐待を疑う状況が述べられる。</p> <p>③虐待をなくすための策を述べられる。</p> <p style="text-align: right;">教科書(4) 第VI章</p>	稲井
<p>履修者へのコメント：</p> <p>1. 履修にあたっての心構えと要望</p> <p>1) 概要に該当する部分を予習して授業に臨んでください。</p> <p>2) 授業後は授業内容を復習してください。</p> <p>2. グループ課題</p> <p>1) テーマ：現代の乳幼児と家族をとりまく環境とさまざまな社会的問題を知り、看護者としての支援を考える。</p> <p>2) 方法：グループで選択した課題に関するデータ・資料を収集し、問題の実態や看護者の支援を考察する。パワーポイント10～12枚にまとめ、発表・意見交換により学習内容を共有する。詳細は、第3回目に説明する。</p> <p>3) 課題内容：</p> <p>(1) 乳幼児に起こりやすい疾患について</p> <p>① 感染症の特徴と予防対策</p> <p>② 発育障害の特徴と早期発見と予防</p> <p>③ 乳幼児突然死症候群のリスク因子と予防法および指導</p> <p>(2) 正常経過にある乳幼児の援助について</p> <p>① 発達を促進するケア</p> <p>② 社会性を促進するケア</p> <p>③ 起こりやすい事故の予防と対策</p> <p>④ 起こりやすい疾病の予防的ケア</p> <p>⑤ 家族へのケア</p> <p>(3) 現代の乳幼児を取り巻く環境と様々な社会問題について</p> <p>(4) 乳幼児と家族の問題に対する看護者としての支援について</p> <p>(5) 課題発表後に、発表内容について評価と解説をします。</p>				
<p>オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。</p>				
<p>教科書：</p> <p>(1) 横尾京子編：助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期、第5版、医学書院、2013.</p> <p>(2) 横尾京子編：助産師基礎教育テキスト 第6巻(2017年版)産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア、第1版、日本看護協会出版会、2017.</p> <p>(3) 遠藤俊子編：助産師基礎教育テキスト 第7巻(2017年版)ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、日本看護協会出版会、2017.</p> <p>(4) 我部山キヨ子、大石時子編：助産師のためのフィジカルイグザミネーション、医学書院、2008.</p>				
<p>参考書：</p> <p>(1) 我部山キヨ子、菅原ますみ編：助産学講座4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学、第5版、医学書院、2016.</p> <p>(2) 松田暉、萩原俊男、難波光義、鈴木久美、林直子 総編：看護学テキスト nice 疾病と治療Ⅲ、南江堂、2010.</p> <p>(3) 二宮啓子、今野美紀編：看護学テキスト nice 小児看護学概論 子どもと家族に寄り添う援助、南江堂、2015.</p> <p>(4) 二宮啓子、今野美紀編：看護学テキスト nice 小児看護技術 子どもと家族の力をひきだす技南江堂、2012.</p> <p>(5) 舟島なをみ：看護のための人間発達学、第4版、医学書院、2011.</p>				



授業科目の区分		助産診断・技術学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
妊娠期の 助産診断・技術学	講義	前期	必修	2/45	北川典子 稲井洋子 景山直子 今村久美子 高森妙子
概要：マタニティサイクルの最初の段階である妊娠期の、対象の特性・生理的特性を理解し、対象者自身がセルフケア、自己決定できるよう援助することを学習する。また、助産師の専門的な基礎助産技術(診断技術、援助指導技術)を理解する。					
目的：1. 妊娠期の対象の理解と助産師の関わりを理解する。 2. 助産技術として、助産過程が展開できる。 3. 助産技術として、集団指導や個別指導の計画を立案・実施する過程の組み立て方について学習する。					
到達目標：1. 対象の妊娠期の生理的・身体的変化、心理・社会的変化について説明できる。 2. 助産過程(診断過程、実践過程)を理解し、ペーパーペイシエントで展開できる。 3. 演習を通して基本となる診断・診察技術を正確度の高い技術にすることができる。 4. 演習を通して健康相談を受けることができる対話・コミュニケーション能力を高める。					
評価方法：1. 定期試験(筆記試験)(90%) 2. 授業参加度(10%)					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	既習学習と今後の学習	産婦人科用語を理解する。周産期看護の基礎的知識の復習と確認をする。		高森 北川
2	/	母子健康手帳 助産過程の理解(1)	母子健康手帳の歴史、現在の内容を理解し活用できる。ウェルネス思考を基盤とした妊娠期の助産過程を理解する。		高森 北川
3	/	助産過程の理解(2)	実践マタニティ診断、マタニティ診断ガイドブックの妊娠期の構造を理解する。		北川
4	/	助産過程の理解(3)	実践マタニティ診断、マタニティ診断ガイドブックの妊娠期の助産診断類型、内容を理解する。		北川
5	/	妊娠期の生理的変化	妊娠期にある対象の生理的、身体的変化を理解する。胎児の成長・発達を理解する。		北川
6	/				
7	/	妊娠期の心理的変化	妊娠期にある対象の心理的変化を理解する。		北川
8	/	妊娠期の心理・社会的変化	妊娠期にある対象の社会的変化・役割を理解する。妊娠に伴う母子保健を理解する。家族としての関係開始を理解する。		北川
9	/				
10	/	基礎助産技術 (1)-1	フィジカルイグザミネーションについて理解する。診断技術(問診、視診、対話)を実践する。		北川
11	/	基礎助産技術 (1)-2	フィジカルイグザミネーション診断技術(触診、聴診、内診)を実践する。		北川
12					
13	/	妊婦健康診査 VTR	妊婦健康診査について理解する。視聴覚教材を活用し、妊婦健康診査する助産師の役割を理解する。		北川

14	/	基礎助産技術	演習「ペーパーペイシエントの妊婦健康診査を行う」 ( 問診、外診、聴診、内診 )	北川・稲井 景山・今村
15				
16	/	妊娠期の助産過程の展開 (1)	演習 ペーパーペイシエントの助産過程の展開	北川
17	/	妊娠期の助産過程の展開 (2)	演習 ペーパーペイシエントの助産過程の展開	北川
18	/	妊娠期の助産過程の展開 (3)	演習 ペーパーペイシエントの助産過程の展開	北川
19	/	妊娠期の助産過程の展開 (4)	演習 ペーパーペイシエントの助産過程の展開	北川
20	/	妊娠期の助産過程の展開 (5)	演習 ペーパーペイシエントの助産過程の展開	北川
21 22 23	/	妊娠期の助産過程の発表 (1) (2) (3)	演習 ペーパーペイシエントの助産過程の発表	北川・稲井 景山・今村

履修者へのコメント：

- (1) 履修にあたっては、事前学習としてテキストを読んで下さい。
- (2) 技術練習は体得するまで、繰り返し練習して下さい。
- (3) 提出されたレポート・課題については授業内外において返却・解説を行う。

オフィスアワー：質問は平日 16：30～17：30 に来て下さい。

教科書：

- (1) 母子健康手帳
- (2) 青木康子編：実践マタニティ診断、第4版、医学書院、2016.
- (3) 我部山キヨ子、大石時子編：助産師のためのフィジカルイグザミネーション、医学書院、2008.
- (4) 我部山キヨ子、菅原まゆみ編：助産学講座4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学、第5版、医学書院、2016.
- (5) 堀内成子編：助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ、第5版、医学書院、2015.
- (6) 我部山キヨ子ら編：助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期 第5版、医学書院、2013.
- (7) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第4巻(2017年版) 妊娠期の診断とケア、日本看護協会出版会、2017.

参考書：

- (1) 日本助産診断・実践研究会著：マタニティ診断ガイドブック、第5版、医学書院、2015.
- (2) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座1 基礎助産学[1] 助産学概論 第5版、医学書院、2016.
- (3) 吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト 第2巻(2017年版) 女性の健康とケア、日本看護協会出版会、2017.
- (4) 進純郎・高木愛子著：ブラッシュアップ助産学 助産外来の健診技術、医学書院、2010.

授業科目名の区分		助産診断・技術学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
分娩期の 助産診断・技術学	演習	前期	必修	3/60	景山直子 稲井洋子 北川典子 今村久美子
概要：専門科目として助産診断・技術学に位置づけられている科目であり、分娩期における対象理解・助産診断を知識・技術・態度を統合して学ぶ。					
目的：分娩経過に添った助産過程の展開、ケアが実践できるよう講義、演習を通して学んだ知識・技術・態度を統合することができる。					
到達目標： 1. 分娩期の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、産婦が主体的な分娩に臨むための援助を考え、実施することができる。 2. グループで協力して課題に取り組み、知識・技術を習得することができる。 3. 系統的に経過診断を行い、助産計画の立案・評価することができる。 4. 正常分娩介助法の原理を理解し、分娩介助を実施することができる。					
評価方法：1. 定期試験（筆記試験・小テスト）（70%） 2. 実技試験（10%） 3. 授業参加態度・レポート（20%）					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容	担当者	
1	/	分娩期の助産診断 (1)	分娩経過に必要な知識を理解することができる。 小テスト (分娩3要素、分娩各期のケア)	景山	
2		分娩期の助産診断 (2)	分娩経過に必要な知識を説明することができる。 —分娩第1・2・3期— グループ学習発表 演習	景山	
3	/	分娩期の助産診断 (3)	助産診断の特徴について理解することができる。 TBL (小テスト・グループテスト、応用課題)	景山	
4		分娩期のフィジカル アセスメント(1)	産婦の健康診査について理解することができる。 —問診、外診、内診— グループ学習発表 演習	景山	
5	/	分娩期のフィジカル アセスメント(2)	産婦の健康診査について説明することができる。 —問診、外診、内診— TBL (小テスト、グループテスト、応用課題)	景山	
6	/	分娩期のフィジカル アセスメント(3)	分娩経過に与える影響について理解することができる。 —分娩開始、フリードマン頸管開大曲線— —パルトグラムの作成—	景山	
7	/	分娩期のフィジカル アセスメント(4)	分娩期における心理・社会的側面について説明することができる。 小テスト 演習	景山	
8	/	産婦の支援 (1)	分娩経過に添ったケアを理解することができる。 TBL (小テスト・グループテスト、応用課題)	景山	
9 10	/	分娩期の助産計画の立案 (1)(2)	分娩第1期の助産過程を統合して展開することができる。 分娩第1期の診断・実践計画の立案 演習	景山	
11 12	/	産婦の支援 (2)(3)	分娩経過に添ったケアを実践することができる。 —分娩第1・2・3期、分娩後2時間まで— グループ学習発表 演習 小テスト	景山	



13	/	分娩介助法 (1)	分娩介助の意義、正常分娩介助法の原理を理解することができる。 分娩時の準備・体位について説明することができる。 小テスト	景山
14 15 16	/	分娩期の助産計画の立案 (3)(4)(5)	分娩各時期の助産過程を統合して展開することができる。 分娩第1期の評価 第2期から分娩後2時間の診断・実践計画の立案 演習	景山
17		分娩期の助産計画の発表	立案した助産過程の発表を通して理解を深めることができる。 演習	景山・稲井 北川・今村
18		分娩期の助産計画の立案 (6)	短時間で分娩第1期の診断・実践過程の立案を実施することができる。 演習	景山
19		分娩期の助産計画の立案 (7)	短時間で分娩第1期の診断・実践過程の立案を実施することができる。 演習	景山
20 21		分娩介助法 (2)(3)	分娩準備から分娩終了までの分娩介助時の技術を理解することができる。 器具・器材の配置、手指消毒、外陰部洗浄、努責の誘導 肛門・会陰保護、児娩出、胎盤娩出、分娩後の観察 小テスト 演習	景山
22 23 24 25		正常分娩介助時の技術 (1)(2)(3)(4)	正常分娩介助法に基づく介助技術を実施することができる。 －分娩準備から児娩出まで－ 演習	景山・稲井 北川・今村
26		正常分娩介助時の技術(5)	正常分娩介助法に基づく介助技術を実施することができる －外陰部洗浄から胎盤娩出まで－ 演習	景山
27 28		正常分娩介助時の技術 (6)(7)	正常分娩介助法に基づく介助技術を実施することができる －外陰部洗浄から胎盤娩出まで－ 演習	景山・稲井 北川・今村
29 30		正常分娩介助時の技術 (8)(9)	正常分娩介助法に基づく介助技術を実施することができる －児娩出から分娩終了まで－ 演習	景山・稲井 北川・今村
履修者へのコメント： (1)履修にあたって事前学習・復習をしてください。 (2)講義には積極的に参加し、随時質問してください。 (3)レポート課題はコメント後返却します。				
オフィスアワー：講義時間以外の質問は平日8:30～17:30の間に来てください。				
教科書： (1)我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座2 基礎助産学(2) 母子の基礎科学、第5版、医学書院、2014。 (2)我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ(2)分娩期・産褥期、第5版、医学書院、2013。 (3)町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア、第1版(2017年版)、 日本看護協会出版会、2017。 (4)遠藤俊子編：助産師基礎教育テキスト 第7巻(2017年版) ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、 日本看護協会出版会、2017。 (5)日本助産診断・実践研究会編著：実践マタニティ診断、第3版、医学書院、2014。 (6)進純郎：分娩介助学、第2版、医学書院、2014。 (7)平澤美恵子、村山睦子監：写真でわかる助産技術、インターメディカ、2012。 (8)日本助産診断・実践研究会編著：マタニティ診断ガイドブック 第5版、医学書院、2015。				
参考書： (1)我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座3 基礎助産学(3)、母子の健康科学、第4版 医学書院、2015。 (2)日本助産診断・実践研究会編著：実践マタニティ診断、第4版、医学書院、2016。 (3)藤森敬也：胎児心拍数モニタリング講座 第2版 メディカ出版、2011。 (4)進純郎、堀内成子編：ブラッシュアップ助産学正常分娩の助産術第1版、医学書院、2010。				

授業科目名の区分		助産診断・技術学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
産褥期の 助産診断・技術学	演習	前期	必修	2/45	今村久美子 稲井洋子 北川典子 景山直子 阿部一子
概要：専門科目として助産診断・技術学に位置づけられている科目であり、産褥期・新生児期にある対象の身体的・心理社会的側面の理解を深め、母児のケアを学ぶ。					
目的：妊娠・分娩の経過をふまえた母児の助産過程の展開を実践できるよう知識・技術・態度を修得する。					
到達目標： 1. 対象とその家族の特性を理解し、健康維持・向上のために行動変容を促す保健指導とケアが理解できる。 2. 系統的・組織的に支援活動を行うための思考のプロセスが理解できる。 3. 助産診断のプロセスに沿って、安全・安楽な技術を実施できる。					
評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（80%） 2. レポート・授業参加態度（20%）					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	産褥期の生理・変化 フィジカルアセスメント	既習の知識をふまえ産褥期の身体的・心理社会的変化を説明することができる。		今村
2	/	褥婦の支援(1)	産褥早期の支援や心理、日常生活適応の支援について説明することができる。 初回授乳指導を考えることができる。		今村
3	/	褥婦の支援(2)	母児同室・育児支援について説明することができる。 分娩の振り返りを実践することができる。		今村
4	/	乳房管理 (1)	母乳栄養確立への診断をすることができる。		阿部
5	/	乳房管理 (2)	乳汁分泌のメカニズムを説明することができる。 母乳栄養確立へのケアを説明することができる。		阿部
6 7		乳房管理 (3) (4)	母乳栄養確立への乳房ケアが実践できる。 演習		阿部
8	/	新生児期の フィジカルアセスメント(1)	新生児の看護に必要な観察・診察技術を説明することができる。		今村
9	/	新生児期の フィジカルアセスメント(2)	新生児の看護に必要な観察・診察技術を実践することができる。 (出生直後のケア含む) 演習		今村
10	/	新生児期の フィジカルアセスメント(3)	目的、注意点をふまえ新生児の清潔ケアが実践できる。 新生児の沐浴、衣服の着脱。 演習		今村
11	/	ハイリスク新生児のケア	ハイリスク新生児の特徴と看護を理解することができる。		今村
12	/	産褥・新生児期の助産診断	産褥・新生児期の助産診断の特徴を理解できる。 診断に必要な情報；身体的・心理的・社会的変化		今村
13 14 15 16	/	産褥期・新生児期の 助産計画の立案 (1) (2) (3) (4)	母児の助産過程を展開することができる。 ペーパーペイシエントによる助産過程の展開 演習		今村

17		指導技術(1)	退院後の母児に必要な指導を考えることができる。 退院指導（家族計画含む）	今村
18		指導技術(2)	新生児訪問に必要な指導を考えることができる。 訪問指導（新生児訪問）	今村
19 20		新生児訪問の助産計画の 立案(1)(2)	新生児訪問に向けて助産過程を展開することができる。 ペーパーペイシェントによる助産過程の展開 演習	今村
21 22 23		新生児訪問の助産計画の 発表(1)(2)(3)	助産計画を元に新生児訪問を実践することができる。 演習	今村・稲井 北川・景山

履修者へのコメント：

- (1) 履修にあたって事前学習・復習をしてください。
- (2) 講義には積極的に参加し、随時質問してください。
- (3) 提出された課題については、後期実習が開始されるまでに返却解説を行う。

オフィスアワー：講義時間以外の質問は平日8:30～17:30の間に来てください。

教科書：

- (1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座3 基礎助産学(3) 母子の健康科学、第5版、医学書院、2016.
- (2) 堀内成子編：助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ、第5版、医学書院、2013.
- (3) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ (2)分娩期・産褥期、第5版、医学書院、2013.
- (4) 横尾京子編：助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ(3) 新生児期・乳幼児期、第5版、医学書院、2013.
- (5) 横尾京子編：助産師基礎教育テキスト 第6巻(2017年版)新生児期・乳幼児期のケア、第1版、日本看護協会出版会、2017.
- (6) 遠藤俊子編：助産師基礎教育テキスト 第7巻(2017年版)ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、日本看護協会出版会、2017.
- (7) 日本助産診断・実践研究会編著：実践マタニティ診断、第4版、医学書院、2016.
- (8) 我部山キヨ子、大石時子編：助産師のためのフィジカルイグザミネーション、医学書院、2008.

参考書：

- (1) NPO法人日本ラクテーションコンサルタント協会：母乳育児支援スタンダード、第2版、医学書院、2015.
- (2) 根津八鉦：乳房管理学<改訂>、諏訪メディカルサービス、2005.
- (3) 新道幸恵、和田サヨ子：母性の心理社会的側面と看護ケア、医学書院、2009.
- (4) 沢竹内徹：親と子のきずなはどうつくられるか、医学書院、2001.
- (5) 編集北村俊則：事例で読み解く 周産期メンタルケアの理論 産後うつ病発症メカニズム理解のために 医学書院、2007.

授業科目の区分		助産診断・技術学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
新生児診断学	講義	前期	必修	1/30	田村正徳
概要：専門科目として助産診断・技術学に位置づけられている科目であり、胎生期からの発達・発育を含め、胎外生活へ向けての病態生理と看護、蘇生の実際について学ぶ。					側島久典
目的：胎生期から新生児、乳児期への発達・発育の過程でおこる病態生理の特殊性と、短期・長期予後を学習し、母子看護に必要な知識・技術を修得する。					國方徹也
到達目標：1. 胎内生活から胎外生活への適応生理、発達生理について説明することができる。 2. 新生児の異常を診断し対応するための知識を理解することができる。 3. 新生児蘇生に必要な知識・技術を習得することができる。					本多正和 非常勤講師 ( )
評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（100%）					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	出生前小児科学 (1)	胎児の生理、成長と発達、出生前育児学		側島
2	/	出生前小児科学 (2)	遺伝子病、染色体異常、胎芽病、胎児病 出生前診断と治療		側島
3	/	胎児の発育	胎児の発育曲線と子宮内発育遅延の原因と予後		國方
4	/	新生児の生命倫理	先天奇形、分娩外傷、新生児医療における生命倫理的問題		側島
5	/	新生児の出生時の適応生理	胎内生活から胎外生活への移行		側島
6	/	新生児と低出生体重児の定義と分類	新生児と低出生体重児の定義、分類、生理的特徴 疫学、保健統計		側島
7	/	低出生体重児のケア	低出生体重児の保育環境（栄養、感染防止、母子接触）		側島
8	/	新生児仮死	新生児仮死の病態と救急蘇生法の理論		國方 本多
9 10	/	新生児蘇生法演習 (1)(2)	新生児仮死、救急蘇生法の実技演習 新生児仮死と蘇生のシナリオ演習		國方 本多 ( )
11	/	新生児の異常	新生児の異常徴候		側島
12	/	新生児の疾患 (1)	呼吸・循環器疾患		側島
13	/	新生児の疾患 (2)	新生児出血性疾患、消化器疾患、高ビリルビン血症 その他		側島
14	/	低出生体重児の疾患	低出生体重児の代表的な疾患、フォローアップ		側島
15	/	まとめ	まとめ		側島

履修者へのコメント：履修にあたっての心構えと要望

(1) 概要に該当する部分を予習して授業に臨んでください。

(2) 授業後は授業内容を復習してください。

オフィスアワー：質問は授業終了後に教室にて受け付ける。

教科書：

(1) 田村正徳監修：改訂第3版 日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく新生児蘇生法テキスト、メジカルビュー社、2016.

参考書：

(1) 田村正徳著：ハイリスク新生児、メジカルビュー社、1999.

(2) 小川雄之亮、他編：新生児学、第2版、メディカ出版、2000.

授業科目の区分		助産診断・技術学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
生殖医学の生理と病理	講義	前期	必修	1/30	馬場 一 憲 石 原 理 高 井 泰 齋 藤 正 博 木 村 真 智 子 海老根 真由美 菅 沼 真 樹
概 要：専門科目として助産診断・技術学に位置づけられている科目であり、生殖に関する医療技術の実際と看護について学ぶ。					
目 的：生殖に関する医療技術と母子の健康状態を診断するための知識・技術・態度を修得する。					
到達目標：1. 生殖医療に関するホルモン動態・生殖機能について説明することができる。 2. 周産期におけるメンタルヘルスについて説明することができる。 3. 母子の健康状態を診断するための技術を理解することができる。 4. 母体・胎児の異常を診断し対応できるための知識を理解することができる。					
評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	女性の性と生殖機能 月経異常と排卵障害	月経発生機構、排卵機構、黄体機能調節、 更年期の内分泌動態、閉経後のホルモン環境、排卵障害、 原発性無月経、染色体異常、PCO、早発月経、早発閉経、 月経前緊張症、月経困難症等		高井
2	/	生命倫理 (1)	多胎妊娠、減数手術、AID、サロゲートマザー等		石原
3	/	生命倫理 (2)	多胎妊娠、減数手術、AID、サロゲートマザー等		石原
4	/	女性不妊症 男性不妊	不妊症の検査、不妊症の原因（卵管因子、子宮内膜症、子宮奇形、排卵障害、機能性不妊） 乏精子症、精液検査、精子機能検査、精索静脈瘤等		木村
5	/	生殖補助技術	IVF-ET、GIFT、顕微受精、卵巣刺激法、AIH、OHSS、 生殖細胞凍結等		木村
6 7	/	周産期のメンタルヘルス (1)	不妊・不育にある対象の心理		菅沼
8	/	生殖器別にみた疾患	外陰部と膣の疾患、子宮の疾患、子宮付属器の疾患 男性性器の疾患		齋藤
9	/	妊娠中の検査の目的と種類	妊娠の診断、血液検査、尿検査、クアトロテスト、 羊水検査、染色体検査 等		齋藤
10	/	超音波診断 (1)	超音波診断装置の基礎と装置の使い方 超音波診断（妊娠初期）		馬場
11	/	超音波診断 (2)	超音波診断（妊娠中・末期）		馬場
12	/	胎児モニター (1)	分娩監視装置の基礎と使い方、CTGの読み方		馬場
13	/	胎児モニター (2)	CTGによる胎児診断、NST		馬場
14	/	母子の臨床薬理学	妊娠期（胎児期）、分娩期、産褥期、新生児期における薬		海老根
15	/	周産期のメンタルヘルス (2)	精神疾患合併妊娠、マタニティーブルー、産褥うつ、 ドメスティックバイオレンス等		海老根



<p>履修者へのコメント：履修にあたっての心構えと要望</p> <p>(1) 概要に該当する部分を予習して授業に臨んでください。</p> <p>(2) 授業後は授業内容を復習してください。</p>
<p>オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。</p>
<p>教科書：〈テキスト〉</p> <p>(1) 馬場一憲編：目でみる妊娠と出産、文光堂、2013.</p> <p>(2) 日本母体胎児医学会編：CTGモニタリング・テキスト、東京医学社、2013.</p> <p>(3) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座 2 基礎助産学(2) 母子の基礎科学、第5版、医学書院、2013.</p> <p>(4) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座 3 基礎助産学(3) 母子の健康科学、第5版、医学書院、2016.</p> <p>(5) 村瀬聡美、我部山キヨ子編：助産学講座 4 母子の心理・社会学、第5版、医学書院、2016.</p> <p>(6) 堀内成子編：助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ、第5版、医学書院、2013.</p> <p>(7) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ(1)妊娠期、第5版、医学書院、2013.</p> <p>(8) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ(2)分娩期・産褥期、第5版、医学書院、2013.</p> <p>(9) 山本あい子編：助産師基礎教育テキスト 第1巻(2017年版)助産概論、第1版、日本看護協会出版会、2017.</p> <p>(10) 吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト 第2巻(2017年版)女性の健康とケア、第1版、日本看護協会出版会、2017.</p> <p>(11) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第4巻(2017年版)妊娠期の診断とケア、第1版、日本看護協会出版会、2017.</p> <p>(12) 横尾京子編：助産師基礎教育テキスト 第6巻(2017年版)産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア、第1版、日本看護協会出版会、2017.</p> <p>(13) 遠藤俊子編：助産師基礎教育テキスト 第7巻(2017年版)ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、日本看護協会出版会、2017.</p>
<p>〈参考図書〉</p> <p>(1) 青野敏博著：産婦人科におけるホルモン療法の実際 永井書店、1994.</p> <p>(2) 木下勝之、馬場一憲指導：ビデオ「正しい超音波診断のために」、メジカルビュー社</p> <p>(3) 馬場一憲指導：ビデオ「産婦人科におけるカラードプラー」、メジカルセンス</p> <p>(4) 馬場一憲著：超音波像による産婦人科の飛躍、永井書店、1992.</p> <p>(5) 高橋克幸、武谷雄二監修：助産師・看護師のための 超音波画像診断、改訂第2版、南江堂、2002.</p> <p>(6) 馬場一憲編：基礎から学ぶ産婦人科超音波診断、東京医学社、2010.</p> <p>(7) 馬場一憲、市塚清健編：超音波胎児形態異常スクリーニング、文光堂、2015.</p> <p>(8) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第3版、メディックメディア 2013.</p> <p>(9) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.10 産科 第3版、メディックメディア、2013.</p>

授業科目の区分		地域母子保健			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
地域母子保健学	講義	前期	必修	1/15	本橋千恵美
概要：時代に即した助産師としての活動が展開できるよう、地域母子保健を推進するための知識を習得するとともに、社会資源の活用や保健医療福祉機関と連携・協働した地域母子保健活動の意義について学ぶ。特に、安心して子どもを産み、健やかに育てるための家庭や地域の役割について、その活動方法やプロセスを通じて考える。					
目的：地域における母子保健活動を理解し、地域の特性をアセスメントして、母子の環境改善に向けた助産師活動ができる能力を養う。					
到達目標：1. 地域母子保健の意義及び母子保健の現状と動向を理解する。 2. 地域母子保健行政の体系及び活動の実際を理解する。 3. 地域母子保健における助産師の役割について述べるができる。					
評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	5/24 (水)	母子保健の現状と動向	1. 人口動態統計・母体保護統計 2. 母子保健をめぐる諸問題と課題 3. 地域母子保健行政の体系		本橋
2	5/24 (水)	母子保健制度と母子保健施策①	1. 健康診査・保健指導・療養援護 2. 医療対策・予防接種 3. エンゼルプランと新エンゼルプラン		本橋
3	5/31 (水)	母子保健制度と母子保健施策②	1. 健康日本21と健やか親子21 2. 子ども・子育て応援プランと次世代育成支援対策行動計画		本橋
4	5/31 (水)	地域母子保健活動の展開	1. 関係機関との連携 2. 地域母子保健ニーズの把握 3. 地域母子保健ニーズの施策化		本橋
5	6/7 (水)	地域母子保健の意義と住民活動	1. 社会環境の変化と母子保健 2. 地域の特性と地域母子保健		本橋
6	6/7 (水)	地域母子保健活動の場	1. 行政機関 2. 母子保健推進員・愛育班 3. 病院・診療所・助産所		本橋
7	7/5 (水)	地域母子保健活動の実際	1. 女性のライフサイクルへの支援 2. 訪問指導の理論と実際 3. 地域子育て支援		本橋
8	7/5 (水)	国際化時代の母子保健	1. 母子保健と国際協力 2. 国連ミレニアム開発計画 3. 文化としての妊娠・出産		本橋
履修者へのコメント： (1) 授業開始時に授業に用いる資料を配付するので、毎回持参すること。 (2) 履修にあたって事前学習、復習をしてください。 (3) 課題に対するフィードバックは授業内で解説します。					
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。					
教科書： (1) 我部山キヨ子、毛利多恵子編：助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健、第5版、医学書院、2016.					



授業科目の区分		助産管理			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
助産管理	講義	前期	必修	2/30	稲井洋子
概要：助産業務に必要な管理の原則、病院や助産所における管理に必要な知識とその体制、妊産褥婦と子どもおよびその家族に必要な助産業務の管理について学ぶ。					武藤光代
目的：助産管理の基本と助産師の義務・責任、関係法規と病院・診療所や助産所の助産業務および助産管理とリスクマネジメントの実際について修得する。 助産業務や助産管理における倫理について、グループワークを通して自己の考えを明確にする。					内田美恵子 中島桂子
到達目標：1. 助産業務の特性と医療連携について説明できる。 2. 病院における助産業務管理の実際を説明できる。 3. 助産所の管理・運営に必要なことを説明できる。 4. 種々のガイドラインの活用について説明できる。 5. 災害時における助産師の役割と業務について説明できる。					山口次子 伊藤匡子
評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（80％） 2. 授業参加度・レポート（20％）					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	助産師の業務 関係法規	1. 助産師の業務範囲、助産管理の定義、助産業務管理の特性について説明できる。 2. 助産師の法的責任と義務・責任について説明できる。 教科書(1)第1章、第2章。		稲井
2	/	助産管理の基本	1. 助産管理学とは何かを説明できる。 2. マネジメントの定義とマネジメントサイクルについて説明できる。 3. 周産期における管理の実際を説明できる。 教科書(1)第1章、第2章。教科書(6)		稲井
3	/	病院の管理と管理体制	病院の管理体制と助産師の役割について説明できる。 教科書(1)第4章		武藤
4	/	産科病棟の管理	産科病棟の管理体制と助産師の役割について説明できる。 産科病棟のリスクマネジメントについて説明できる。 教科書(1)第3章、第4章。教科書(6)		山口
5	/	助産外来の管理	助産外来の管理と助産師の役割について説明できる。 教科書(1)第4章		山口
6	/	MFICU の管理	MFICUにおける助産管理について説明できる。 教科書(1)第3章		内田
7	/	NICU の管理	NICUにおける看護管理について説明できる。 教科書(1)第3章		内田
8	/	助産所の管理 (1)	関係法規と助産所の管理（経営）について説明できる。 教科書(1)第5章。教科書(2), (3)		中島
9	/	助産所の管理 (2)	開業助産師の役割・義務・責任について説明できる。 教科書(1)第5章。教科書(2), (3)		中島
10	/	診療所の助産業務と管理	診療所における助産師の業務・役割・義務・責任と管理について説明できる。 教科書(1)第4章		伊藤

11	/	災害時における助産師の 役割と業務	1. 災害と災害看護の実際について説明できる。 1) 災害の定義 2) 災害の種類 3) 災害の発生状況 4) 災害看護とは 5) 災害への備え 等 2. 災害時の助産ケアについて具体的に説明できる。 教科書(1) 第3章, 第5章, 教科書(4) P3, P61, P135-140	稲井
12	/	助産管理と倫理 (1)	助産業務や助産管理における倫理について、実習で体験した事例について意見交換できる。 (グループワーク) ※ICMの「助産師の倫理綱領」等の資料を配布する	稲井
13	/	助産管理と倫理 (2)	助産業務や助産管理における倫理について、意見交換した内容を参考にし、自らの考えを明確にできる。 (まとめ・レポート作成)	稲井
14	/	助産管理の今後の課題 (1)	助産業務や助産管理の今後の課題について、1年の学びと今後の展望について意見交換できる。 (グループワーク) 教科書(2), (3), (5) ※産科保障制度再発防止委員会からの提言集を持参する	稲井
15	/	助産管理の今後の課題 (2)	助産業務や助産管理の今後の課題について、意見交換したことを通して自己の課題を明確にできる。 (まとめ・レポート作成) 教科書(2), (3), (5)	稲井

履修者へのコメント：

(1) 履修にあたっての心構えと要望

- ① 概要に該当する部分を予習して授業に臨んでください。
- ② 授業後は授業内容を復習してください。
- ③ 課題について、グループワーク時・レポート作成等の授業内で解説します。

オフィスアワー：

1. 授業終了後に教室で質問を受け付けます。
2. 授業時間外の質問は、研究室 22 までお越しください。

教科書：

- (1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座10 助産管理、第5版、医学書院、2016.
- (2) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2014、日本産婦人科学会事務局2014.
- (3) 日本助産師会編集・監修：助産業務ガイドライン2014、日本助産師会出版、2014.
- (4) 日本助産師会編集・監修：助産所開業マニュアル、日本助産師会出版、2013.
- (5) 成田伸編：助産師基礎教育テキスト 第3巻(2017年版) 周産期における医療の質と安全 第1版、日本看護協会出版会 2017.
- (6) 福井トシ子編集：藺相如さんテキスト：第4巻 重要な周辺知識、メディカ出版、2016.

参考書：

- (1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座1 基礎助産学[1] 助産学概論、第5版、医学書院、2015.
- (2) 公益財団法人母子衛生研究会編：母子保健の主なる統計 平成28年度刊行(2016)、母子保健事業団、2017.
- (3) 財団法人母子衛生研究会編：わが国の母子保健 平成29年、母子保健事業団、2017.
- (4) 産科医療保障制度 再発防止委員会からの提言集 第1回報告書～第5回報告書、日本医療機能評価機構、2015.

授業科目の区分		基礎助産学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
母子看護学研究 I (基礎)	演習	前期	必修	1/30	稲井 洋子
<p>概要：看護研究は看護実践に役立つ新たな知識を体系化する営みである。研究が必要とされるのは、看護の質の向上、看護の専門性の確立、看護学の確立のためである。母子看護学研究 I (基礎) では、母子看護学における研究の目的・方法・手順を具体的に学ぶ。また、文献検索・文献検討や論文の書き方やプレゼンテーションについても学ぶ。</p>					田村 直俊 荒川 浩明
<p>目的：研究を行うための基礎的な知識・技術・態度を修得する。</p>					
<p>到達目標：1. 研究の意義と倫理的配慮について説明できる。 2. 研究過程と研究デザインについて説明できる。 3. 文献検索するための方法を理解し、実際に文献を検索できる。 4. 論文の構成要素と具体的な書き方がわかる。 5. 実際にクリティークし、発表できる。 6. 実際に研究計画書を作成することができる。</p>					
<p>評価方法：1. 研究計画書の立案 (60%) 2. 授業参加度・課題レポート (40%)</p>					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	研究の役割、研究の課題	<p>1. 研究とは看護研究とは何かを説明できる。 2. 看護における研究の意義と重要性を説明できる。 3. 看護研究を行う際の倫理的配慮について説明できる。 1) 医療分野における倫理規制 2) 看護研究における倫理的配慮</p> <p>教科書(1)P 2-21.</p>		稲井
2	/	研究過程の概要	<p>1. 研究過程の概要を説明できる。 2. 研究課題の選択ができる。 3. 研究課題と概念枠組みを説明できる。 4. 研究方法について説明できる。</p> <p>教科書(1)P 52-</p>		稲井
3	/	文献検索	<p>文献検索の意義、文献検索の仕方、資料の活用の仕方、文献の読み方、文献整理の方法について説明できる。 (演習) [短大7階図書室等] 教科書(1)P 24-39.</p>		荒川 稲井
4	/	文献検索の実際	<p>文献検索と資料の収集について実際に検索できる。 (演習) [短大7階図書室等] 教科書(1)P 24-39.</p>		荒川 稲井
5	/	研究デザイン	<p>1. 研究過程における研究デザインの位置づけを説明できる 2. 研究デザインについて説明できる。 1) 調査研究 2) 文献研究 3) 事例研究 4) 実験研究</p> <p>課題1：様々な研究方法についてまとめる。 教科書(1)P 53-147.</p>		稲井
6	/	論文の構成要素 プレゼンテーション	<p>論文の主な構成要素と論文作成にあたってのポイントとプレゼンテーション (研究の発表) 方法がわかる。 1) 研究におけるプレゼンテーションの意義について 2) プレゼンテーションの形式について 3) プレゼンテーションの評価について</p> <p>教科書(1)P 200-</p>		稲井

7	/	論文(レポート)の書き方	論文の書き方の要点について学ぶ。	田村
8	/	文献検討 【クリティーク】(1)	1. 文献検討(クリティーク)の視点と目的が説明できる。 2. クリティークの方法が説明できる。 <b>課題2</b> : 文献1編を選定しクリティークする。(グループ演習) 教科書(1)P 40-50.	稲井
9	/	文献検討 【クリティーク】(2)	3. グループで選定した文献をクリティークできる。 (グループ演習)	稲井
10	/	文献検討 【クリティーク】(3)	4. 選定した文献をクリティークし、意見交換できる。 (グループ演習)	稲井
11	/	文献検討の発表 【クリティーク】(4)	5. クリティークした文献についてグループ毎に結果を発表できる。 (課題2の発表)	稲井
12	/	文献検討の発表 【クリティーク】(5)	6. クリティークした文献の発表から、気づいた事項を述べる ことができる。 (課題2の発表とまとめ)	稲井
13	/	学会発表と運営の方法(1)	1. 学会発表の方法を知る。 2. 学会の運営方法について学ぶ。	稲井
14	/	学会発表と運営の方法(2)	1. 学会発表の方法を知る。 2. 学会の運営方法について学ぶ。	稲井
15	/	学会発表と運営の方法(3)	1. 学会発表の方法を知る。 2. 学会の運営方法について学ぶ。 (課題3: 個人学習)	稲井

履修者へのコメント:

(1) 履修にあたっての心構えと要望

① 概要に該当する部分を予習して授業に臨んでください。

② 授業後は授業内容を復習してください。

(2) 授業の一環として学会や研究発表会へ参加し、課題レポートを作成して頂きます。

**課題3**: 別紙要項に示した課題レポートを作成する。

① 趣旨; 助産に関する学会等に出席し研究発表の実際に触れ学びを深める。

学内発表に向け、学会(研究発表)の運営方法について学びを深める。

② 内容; 周知; 予定している学会や研究会等の開催要項が発表され次第、連絡します。

③ 時期; 後期になることもあります。

(3) 課題へのフィードバック

① 課題1、課題3については、課題返却時や次回の授業で解説します。

② 課題2については、発表終了後に評価と解説を行います。

オフィスアワー:

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

教科書:

(1) 桂敏樹、星野明子編: かんたん看護研究、南江堂、2012.

(2) 我部山キヨ子、武谷雄二編: 助産学講座1 基礎助産学(1) 助産学概論 第5版、医学書院、2015.

参考図書:

(1) 南裕子編: 看護における研究、第1版、日本看護協会出版会、2008.

(2) 西條剛央著: 看護研究で迷わないための超入門講座、医学書院2009.

(3) 山崎茂明著: 文献検索ガイド、第4版Ⅷ[増補版]、日本看護協会出版会、2010.

(4) 加藤尚美、林陽子、平山イソラ編: 基礎助産学 第1巻 助産学概論 第1版、日本助産師会出版、2013.

(5) 山本あい子編: 助産師基礎教育テキスト 2017年版 第1巻、助産概論 第1版、日本看護協会出版会、2017.

授業科目の区分		基礎助産学			H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
母子看護学研究Ⅱ (応用)	演習	通年	選択	2/60	稲井 洋子
概要：助産学実習で実践したケアを振り返り、看護・助産の質の向上と専門性を文献的に検証する過程を学ぶ。					北川 典子
目的：文献を用いて実践したケアを検証し、論文にまとめる過程を取得できる。					景山 直子
到達目標：1. 妊娠期の助産過程(診断過程)をもとに、ケースを研究的にまとめることができる。 2. 分娩期の助産過程をもとに、ケースを研究的にまとめることができる。 3. 助産学実習で関わったケースを研究的にまとめ、抄録・論文を作成し発表できる。 4. 助産学の発展に貢献する専門職として、研究的姿勢を身につけることができる。					今村久美子
評価方法：Ⅱ－1：発表記録(30%)と学習態度(10%)、Ⅱ－2：発表記録(40%)と学習態度(20%)					
回	月/日(曜)	授業項目	内 容		担当者
1	/	オリエンテーション	母子看護学研究Ⅱの方法について理解し、随時スケジュール調整をすることができる。		稲井
2	/	母子看護学研究Ⅱ－1 －妊婦の診断過程－ *助産過程の展開 *発表資料等の作成	継続ケースの助産過程をまとめ、発表資料・発表要領・発表原稿を作成できる。  (実習要項参照)		稲井 北川 景山 今村
3	7/	母子看護学研究Ⅱ－1 －妊婦の診断過程－ *発表 *評価	1. 継続ケースの助産過程を発表し意見交換できる。		稲井 北川 景山 今村
4	7/		2. 学習成果を客観的に評価し学習課題を明確にする。		
5	7/				
6	7/				
7	/	母子看護学研究Ⅱ－2 －研究計画書の作成－	1. 継続ケースもしくは受け持ちケースの助産過程を研究的に見つめることができる。		稲井 北川 景山 今村
8	/		2. 所定の様式を使用し、研究計画書を作成できる。		
9	/				
10	/		(実習要領参照:9～11月)		
11	/	母子看護学研究Ⅱ－2 －研究計画書の修正－ *研究計画書の見直し修正	1. 継続ケースもしくは受け持ちケースの助産過程を研究的に見つめることができる。		稲井 北川 景山 今村
12	/		2. 立案した研究計画書の評価と修正を行い、担当教員に指導を受け、論文作成の準備ができる。		
13	/				
14	/		(実習要領参照)		
15	/	母子看護学研究Ⅱ－2 －妊産褥婦・新生児の 診断・実践過程－ *助産過程の展開 *発表論文の作成	1. 継続ケースもしくは受け持ちケースの助産過程を研究的にまとめ、抄録・論文・発表原稿を作成できる。		稲井 北川 景山 今村
16	/		2. 教員から随時アドバイスを受け論文を修正できる。		
17	/				
18	/		(実習要項参照)		
19	/	母子看護学研究Ⅱ－2 －妊産褥婦・新生児の 診断・実践過程－ *助産過程の展開 *発表論文の作成	1. 継続ケースもしくは受け持ちケースの助産過程をまとめ抄録・論文・発表原稿を作成する。		稲井 北川 景山 今村
20	/		2. 教員からアドバイスをを受け、修正する。		
21	/				
22	/		(実習要項参照)		
23	/	母子看護学研究Ⅱ－2 －妊産褥婦・新生児の 診断・実践過程－ *発表論文の作成	1. 継続ケースもしくは受け持ちケースの助産過程をまとめ抄録・論文・発表原稿を作成する。		稲井 北川 景山 今村
24	/		2. 教員からアドバイスをを受け、修正する。		
25	/				
26	/		(実習要項参照)		



27	/	母子看護学研究Ⅱ-2 一妊産褥婦・新生児の 診断・実践過程— * 発表論文の作成 * 発表準備	1. 継続ケースもしくは受け持ちケースの助産過程をまとめ抄録・論文・発表原稿を作成する。 2. 教員からアドバイスを受け、修正する。 3. 研究発表会の準備とリハーサルを行う。  (実習要項参照)	稲井 北川 景山 今村
28	/			
29	/			
30	/			
履修者へのコメント：				
<p>(1) 履修にあたっての心構えと要望</p> <p>① 「母子看護学研究Ⅰ（基礎）」で作成した『研究計画書』に基づき、計画的に臨んでください。</p> <p>② 母子看護学研究Ⅰの授業内容を復習してください。</p> <p>(2) 母子看護学研究Ⅱ-2 について（実習要項参照）</p> <p>① 各自、計画的に臨んでください。計画途中で変更が生じた場合は速やかに担当教員と稲井まで申し出て、研究計画書の変更手続きを行ってください。</p> <p>② 学内で発表の機会を設け、作成したプログラムに添って発表・意見交換・評価をします。</p> <p>③ クラスで発表当日の役割分担をし、研究発表会を進行してください。</p> <p>④ 助産師としての今後の研究的な学習課題を明確にしてください。</p>				
<p>オフィスアワー：</p> <p>個別に質問したい場合は、アポイントをお取りください。</p> <p>担当教員からの指導を受ける場合は、アポイントを取り指導時間を調整してください。</p> <p>研究発表終了後に発表論文・発表方法など、今後の研究に向けての解説をします。</p>				
<p>教科書：</p> <p>(1) 桂敏樹、星野明子編：かんたん看護研究、南江堂、2012.</p>				
<p>参考図書：</p> <p>(1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座1 基礎助産学(1) 助産学概論 第5版、医学書院、2015.</p> <p>(2) 山本あい子編：助産師基礎教育テキスト第1巻(2017年版)助産概論 第1版、日本看護協会出版会、2017.</p> <p>(3) 加藤尚美、林陽子、平山イソラ編：基礎助産学 第1巻 助産学概論 第1版、日本助産師会出版、2013.</p> <p>(4) 西條剛央著：看護研究で迷わないための超入門講座、医学書院2009.</p> <p>(5) 山崎茂明著：文献検索ガイド、第4版Ⅷ[増補版]、日本看護協会出版会、2010.</p> <p>(6) 南裕子編：看護における研究、第1版、日本看護協会出版会、2008.</p>				

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習				H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
助産管理実習	実習	後期	必修	1/45	稲井洋子
概要：助産所における助産業務の実際を理解し、経営・マネジメントの実際について学ぶ。					
目的：助産所における助産業務・管理（経営）の実際を学び、助産業務の特性と助産師の法的責任・義務・助産所の役割について理解する。 妊婦自身による健康の維持・増進および体力づくりの機会に触れ、医療従事者として女性と家族が健やかな生活を送るための責任について学ぶ。					
到達目標：1. 助産所における助産業務と管理の実際を理解できる。 2. 開業助産師の役割・義務・業務の範囲と法的責任について理解できる。 3. 妊婦の健康管理の一方法（妊婦水泳）を理解できる。 4. 関連機関との連携による地域母子保健活動の展開を理解できる。					
評価方法：1. 実習記録（60%） 2. レポート（30%） 3. 実習態度（10%）					
主要内容					
<p>1. オリエンテーション 各実習施設のオリエンテーション</p> <p>2. 助産所における助産業務の実際を学ぶ</p> <p>1) 妊婦のケア (1) 妊娠期の健康診査（一部実施）の見学・評価 (2) 保健指導の実施（一部実施）評価</p> <p>2) 産婦のケア (1) 分娩経過の観察（一部実施） (2) 分娩見学の見学・評価</p> <p>3) 褥婦のケア (1) 褥婦の健康診査（一部実施）の見学・評価 (2) 乳房管理</p> <p>4) 新生児のケア (1) 新生児訪問（同行訪問） (2) 新生児の計測、沐浴</p> <p>5) その他 (1) 食事の準備と食生活について (2) 地域交流 等</p> <p>3. スイミングスクールにおける妊婦水泳の実際</p> <p>1) 妊婦の水泳前後の健康状態の確認（一部実施） 2) 妊婦と共に水泳を体験 3) 妊婦のエクササイズについてレポート作成</p> <p>4. 実習カンファレンス</p> <p>1) 助産所経営・マネジメントの実際について (1) 業務管理 (2) 施設管理 (3) 人事管理 (4) 経営管理など 2) 助産所で取り扱う妊産褥婦と新生児について 3) 学生・指導者・教員と共に考察する</p> <p>5. 実習まとめ および 実習評価</p> <p>1) 課題整理と記録類の整理 2) 自己評価表の作成と今後の課題の明確化</p>					

履修者へのコメント：

(1)履修にあたっての心構えと要望

- 1) 「助産管理学」の授業内容を復習して実習に臨んでください。
- 2) 『助産業務ガイドライン』『産婦人科診療ガイドライン2014』をよく読み臨んでください。

(2)質問などの受け付け：

実習期間中、随時 質問を受け付けます。

教科書：

- (1) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2014、日本産婦人科学会事務局、2014.
- (2) 日本助産師会編集・監修：助産業務ガイドライン2014、日本助産師会出版、2014.
- (3) 公益社団法人日本助産師会 助産所部会委員：助産所開業マニュアル(2013年版)、日本助産師会出版、2013.

参考書：

- (1) 加藤尚美編：助産業務指針 第1版、日本助産師会出版、2010.
- (2) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座1 基礎助産学[1] 助産学概論 第5版、医学書院、2015.
- (3) 山本あい子編：助産師基礎教育テキスト 2017年版 第1巻、助産概論 第1版、日本看護協会出版会、2017.
- (4) 加藤尚美、林陽子、平山イソラ編：基礎助産学 第1巻 助産学概論 第1版、日本助産師会出版、2013.
- (5) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座10 助産管理 第5版、医学書院、2016.
- (6) 看護行政研究会編：看護六法、平成28年度版、新日本法規出版株式会社、2016.



授業科目の区分	臨地実習／助産学実習				H29(2017)年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
周産期援助実習	実習	通年	選択	2/90	北川典子
概要：前期実習において、一人の継続妊婦の妊娠期を妊婦健康診査を通じて診断、ケアし、後期実習において、分娩期、新生児期、産褥期、産褥1か月までの診断ケアができる。					稲井洋子
目的：一人の継続ケース、新生児、その家族を通じて、妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期が健康で正常にたどれるよう支援し、新しい親子関係出発の一貫した援助ができる。					景山直子
到達目標：1. 受け持ち継続妊婦を一人決定する。 2. 継続ケースの妊娠期助産過程を展開し、健康的な妊娠期の生活を具体的に支援する。 3. 継続ケースの分娩期助産過程を展開し、安全な分娩を介助することができる。 4. 継続ケースが新たな親役割を獲得、発揮できるように支援する。					今村久美子
評価方法：実習への取り組み（40％） 記録類（課題記録、日々の記録など）（60％）					
主要内容					
<p>1. 周産期援助実習の概要：1) 前期実習施設のオリエンテーションを受け、自分の実習行動がイメージできる。 2) 周産期援助実習の目的、目標について理解できる。</p> <p>2. 継続ケースの情報収集：1) 継続ケースを決定し、診断に必要な情報を収集する。 2) 継続ケースの妊婦健康診査に参加し、妊娠経過、胎児の成長を把握する。</p> <p>3. 継続ケースの妊娠期の助産過程の展開 1) 妊娠経過に応じた変化、正常から逸脱しないよう生活指導を実施する。 2) 助産過程の追加、修正、評価を行う。</p> <p>4. 継続ケースの分娩期の助産過程を展開し、産婦や家族が主体的に分娩をできるよう安全に介助することができる。</p> <p>5. 継続ケース（褥婦・新生児）の産褥期・新生児期の助産過程を展開する。 1) 産褥期の必要とされる個人指導計画の実施・評価をする。（生活指導、育児技術指導、家族計画など）</p> <p>6. 継続ケースの家庭訪問計画、実施、評価を行う。</p> <p>7. 継続ケース、および新生児の1ヶ月健診に立ち会い、実施した援助が適切であったか評価する。</p> <p>8. 継続ケースを通して学んだ周産期における助産師の支援を考察する。</p>					
履修者へのコメント：前期実習では、継続ケースのみならず、様々な状況にある妊婦を理解する。更に診察に必要な技術を確立する。					
オフィスアワー：実習に関する質問、相談は積極的に担当教員の指導を受けて下さい。					
教科書：					
(1) 日本助産診断・実践研究会編著：実践マタニティ診断 第4版 医学書院、2016.					
(2) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第4巻(2017年版)妊娠期の診断とケア、第1版、日本看護協会出版会、2017.					
(3) 町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア、第1版(2017年版)、日本看護協会出版会、2017.					
(4) 横尾京子編：助産師基礎教育テキスト 第6巻(2017年版)新生児期・乳幼児期のケア、第1版、日本看護協会出版会、2017.					
(5) 我部山キヨ子編：助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ(1)妊娠期、第5版、医学書院、2013.					
(6) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ(2)分娩期・産褥期、第5版、医学書院、2013.					
(7) 横尾京子編：助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ(3) 新生児期・乳幼児期、第5版、医学書院、2013.					
参考書：					
(1) 日本助産診断・実践研究会著：マタニティ診断ガイドブック 第5版 医学書院、2015.					

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習				H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
分娩期援助実習	実習	後期	必修	6/270	景山直子
概要：助産診断・技術学での知識・技術・態度をもとに臨地・助産学実習において、ひとりの産婦を受け持ち分娩第1期から分娩後2時間まで継続的に関わり、助産過程の展開、分娩介助について学ぶ。					稲井洋子
目的：既習の知識・技術を統合して産婦の助産過程を展開し、助産師としての責任を自覚した態度と行動をとり、医療チームの一員としての役割を遂行できる。					北川典子
到達目標： 1. 分娩経過中の母児の状態を診断できる。 2. 分娩期にある産婦の援助ができる。 3. 分娩介助を実施できる。 4. 分娩による身体的・精神的状況を診断し援助ができる。 5. 母児の愛着形成過程を理解し、援助ができる。 6. 医療チームの一員として助産師の役割ができる。					今村久美子
評価方法：1. 助産過程（記録）（60%） 2. 助産技術（30%） 3. 実習参加態度（10%）					
主要内容					
<p>1. 分娩期援助実習の概要</p> <p>1) 分娩期援助実習の目的・目標について理解できる。</p> <p>2) 実習施設オリエンテーションより概要を理解できる。</p> <p>2. 産婦の助産過程の展開</p> <p>1) 母児の経過が診断できる。</p> <p>2) 産婦の健康生活状態を診断できる。</p> <p>3) 分娩経過にあわせた呼吸法の指導と産痛緩和法を実施できる。</p> <p>4) 精神・心理・社会的生活行動の援助ができる。</p> <p>5) 出産育児行動の援助ができる。</p> <p>6) 分娩第1期から分娩後2時間までの援助を実施する。</p> <p>3. カンファレンスの開催</p> <p>1) 知識・技術・態度領域の体験を共有し、知見を見出すことができる。</p>					
実習期間：9月～12月					
履修者へのコメント： (1)履修に当たっての心構えと準備 詳細は実習要項を参照してください。 (2)その他 ①実習に関する連絡は実習担当教員に適時確認してください。 ②実習に関する質問は実習時間内に積極的にしてください。					
教科書：前期の講義で使用した教科書					
参考書：自主的に求める					

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習				H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
新生児援助実習	実習	後期	選択	1/45	景山直子
概要：基礎助産学、助産診断・技術学で学んだ知識をもとに、妊娠・分娩経過をふまえた正常新生児、ハイリスク新生児の看護について学ぶ。					稲井洋子
目的：新生児の助産過程を展開し、胎外生活適応過程の基本的なケアを実践する。また、NICU実習を通してハイリスク新生児の理解を深める。					北川典子
到達目標： 1. 受け持ち新生児の経過を把握、看護計画を立案し、個別的な援助ができる。 2. 受け持ち新生児の日常生活の援助ができる。 3. 母子関係が円滑にいくよう援助ができる。 4. ハイリスク新生児の形態的・機能的特徴について理解できる。 5. ハイリスク新生児をとりまく入院環境と看護について理解できる。 6. 新生児とその家族への関わりについて理解できる。					今村久美子
評価方法：1. 実習記録・レポート (70%) 2. 看護 (助産) 技術 (20%) 3. 実習参加態度 (10%)					
主要内容					
<p>【正常新生児】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新生児援助実習の概要 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 正常新生児実習の目的・目標について理解できる。</li> </ol> </li> <li>2. 受け持ち児の助産過程の展開 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 安全に診察し情報収集できる。</li> <li>2) 情報を分析し助産診断できる。</li> <li>3) 助産目標・計画が立案できる。</li> </ol> </li> <li>3. 援助(含・保健指導)の実施・評価 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日齢に応じた生理的変化の観察ができる。</li> <li>2) 胎内生活から胎外生活確立への援助ができる。</li> <li>3) 母子の愛着形成過程の援助ができる。</li> <li>4) 基本的技術を習得することができる。</li> </ol> </li> <li>4. カンファレンスにより知識・技術・態度領域について共有し、知見を広げる。</li> <li>5. 実習を通して今後の助産師としての課題を明らかにする。</li> </ol> <p>【ハイリスク新生児】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハイリスク新生児実習の概要 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ハイリスク新生児実習の目的・目標について理解できる。</li> </ol> </li> <li>2. NICUの見学実習 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ハイリスク新生児の特徴と看護について理解できる。</li> <li>2) 家族への関わりについて理解できる。</li> </ol> </li> <li>3. カンファレンスにより知識・技術・態度領域について共有し、知見を広げる。</li> </ol>					
実習期間：7月、9月～12月					
履修者へのコメント： (1)履修に当たっての心構えと準備 詳細は実習要項を参照してください。 (2)その他 ①実習に関する連絡は実習担当教員に適時確認してください。 ②実習に関する質問は実習時間内に積極的にしてください。					
教科書：前期の講義で使用した教科書					
参考書：自主的に求める。					

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習				H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
出産前教育実習	実習	通年	選択	1/45	北川典子 稲井洋子 景山直子 今村久美子
概要：地域のヘルスプロモーションや、一保健医療施設において、妊婦及び家族の出産前教育のニーズを把握し、企画・実施を通して、集団指導の基礎的能力を身につける。					
目的：1. 集団指導の企画・運営を通して、妊婦の集団指導の意義を理解する。 2. 集団指導を実施し、妊娠期における集団指導のより効果的な方法を学ぶ。 3. 実施した集団指導を評価・考察する。					
到達目標：1. 集団指導の理論、原理を理解する。 2. 対象及び対象のニーズに応じた出産前の教育の企画書を作成する。 3. 教材研究を綿密に行い、教育指導目標を明確化する。 4. 到達目標は、対象者の行動目標にする。 5. リハーサル後、より対象者にフィットした内容に修正する。 6. 実施後、目標が達成されたのか評価を行う。 7. 集団の健康教育指導技術を高める。					
評価方法：演習・実習参加度 (50%)、助産指導技術 (30%)、実習評価表記録類 (20%)					
主要内容					
<p>1. オリエンテーション：出産前教育実習の概要を理解する。 集団指導の理論、原理を理解する。</p> <p>2. 実習施設で行われる集団指導を見学する：見学ポイントを明確にした上で、保健センター、医療施設の集団指導を見学し、担当項目の目的、前後のプログラムとの関連、対象及び、内容を把握する。</p> <p>3. 集団指導の準備：担当項目の計画・企画（目的、目標、項目、内容、指導法、教材）を検討し、指導案、媒体の作成を行う。しっかり教材研究をする。対象者にとって必要な内容を厳選する。</p> <p>4. 学内リハーサル（1）：自分たちで企画した集団指導のリハーサルを行い、学生同士で意見交換・評価を行う。 指導案・教材などの修正：学内リハーサル（1）の意見交換・評価をもとに指導案・教材を修正する。</p> <p>5. 学内リハーサル（2）：再度、集団指導のリハーサルを行い、学生同士で意見交換・評価を行う。 指導案・教材などの修正（2）：学内リハーサル（2）の意見交換・評価を参考に集団指導の実施に向けて、指導案・教材を再修正する。臨地指導者にも、コメントをいただき、参考に する。参加者の反応に応じて指導内容方法を変更する力を養う。</p> <p>6. 実施前の現地でのリハーサル</p> <p>7. 集団指導の実践と評価：保健センター及び医療施設において、行った集団指導を学生・指導者・教員と共に評価し、考察する。</p>					
履修者へのコメント： 実習施設；飯能市保健センター 鶴ヶ島市保健センター 埼玉医科大学病院 埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター グループで行う協働学習です。活発に意見交換すること。					
教科書： (1) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト 2017年版第4巻妊娠期の診断とケア、日本看護協会出版会、2017。 (2) 堀内成子編：助産学講座5助産診断・技術学I第5版、医学書院、2015。 (3) 我部山キヨ子：臨床助産師必携-生命と文化を踏まえた支援-、第2版、医学書院、2006。					
参考書： (1) 戸田律子：参加型マタニティクラス book 医学書院、2007					

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習				H29 (2017) 年度
授業科目名	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
地域母子保健実習	実習	後期 (7~8月)	必修	1/45	今村久美子 稲井洋子
概要：地域母子保健学を基盤として、埼玉県内の市町村の保健センターにおいて展開されている母子保健事業に参加し、他職種と連携、協働しながら実際に地域住民の母子保健を推進するための能力を高める。					
目的：地域の保健センターにおける母子保健活動の実際を理解し、助産師の役割と活動について理解を深める。					
到達目標： 1. 地域の特性、地域住民の母子保健のニーズを理解できる。 2. 地域母子保健事業の推進に必要な協力体制の実際を理解できる。 3. 地域母子保健事業における助産師の役割について考察できる。					
評価方法： 1. 実習への取り組み (40%) 2. 実習記録類 (事前・課題レポート、地域母子保健実習記録・事業毎、日々の記録など) (60%)					
主要内容					
<p>1. 地域母子保健実習の概要：オリエンテーションを通して、地域の特性と母子保健事業の現状と課題を把握する。</p> <p>2. 乳幼児健康診査の見学・参加：保健センターで実施している乳幼児健康診査の介助を通して、乳幼児の形態・機能的、心理的側面の成長・発達、育児問題を理解する。</p> <p>3. 新生児・乳幼児家庭訪問：新生児、乳幼児の家庭訪問に同行し、家庭での母子の健康生活を理解する。</p> <p>4. 社会の変化と母子保健について理解する：課題学習を通して、安心して子どもを産み、健やかに育てるための家庭や地域の役割について理解し、活動方法についてテキスト、授業資料、参考図書で考察する。</p> <p>5. 地域母子保健事業における自己の目指す助産師について：地域母子保健事業における自己の目指す助産師について、カンファレンスを通して考察する。</p>					
履修者へのコメント： (1) 自分が住んでいる地域の母子保健活動を知っておく。 (2) 地域母子保健学が基盤となるので学習した内容をきちんと把握する。 (3) 実習当該地域の人口、地理、産業、出生率など母子保健に関わる統計資料を把握しておく。 (4) 提出された事前・課題レポートについては、実習中・後に返却・解説します。					
オフィスアワー：実習に関する質問は、実習中にして下さい。					
教科書： (1) 我部山キヨ子、毛利多恵子編：助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第5版、医学書院、2016。 (2) 横尾香子編：助産師基礎教育テキスト第6巻(2017年版)産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア、日本看護協会出版会、2017。					
参考書： (1) 舟島なをみ：看護のための人間発達学、第4版、医学書院 2012。 (2) 福井トシ子編：助産師業務要覧Ⅰ基礎編 新版第2版(2017年版)、日本看護協会出版会 2017。 (3) 福井トシ子編：助産師業務要覧Ⅱ実践編 新版第2版、日本看護協会出版会 2012。					

学校法人 埼玉医科大学

埼玉医科大学短期大学  
平成29年度

平成29年4月1日発行

埼玉医科大学短期大学  
教務委員会

〒350-0495

埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷3-8

電話 049-276-1513

FAX 049-294-8604